

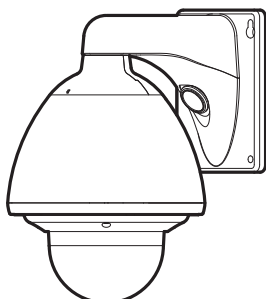
HDネットワークコンビネーションドームカメラ 屋外HDネットワークコンビネーションドームカメラ

型名 **VN-H657B** **VN-H657WPB**

取扱説明書 (設置/IP設定編)



VN-H657B



VN-H657WPB

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

同梱されているCD-ROMには、「取扱説明書」(pdf)、「APIガイド」(pdf)、「JVC-VN検索ツール」、「JVC-VN-IP設定ツール」、「README」(txt)が含まれています。

本書には「Internet Explorerを使った設定」や「統合ビューワの操作」などが記載されておりません。設定や操作について詳しくは、CD-ROMの「取扱説明書」をお読みください。最新版の取扱説明書は、以下のモバイルユーザーガイドまたはURLからPDFをダウンロードしてご確認ください。

モバイルユーザーガイド

出先などからは、Android端末またはiPhone端末で取り扱い方法をご覧ください。

<http://manual3.jvckenwood.com/pro/mobile/jp/>

モバイルユーザーガイドは、Android端末およびiPhone端末に標準搭載のブラウザで閲覧することができます。



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかご確認ください。

安全上のご注意

本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。取り付けねじやナットでの締め付けがゆるいと落下するおそれがありますので、確実に締め付けてください。

十分な強度を持った場所に取り付ける

本機には高速回転部分があるので、振動や本機質量などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。

質量：約 2.0 kg (VN-H657B)

約 5.6 kg (VN-H657WPB)

強度が不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険性があります。

カメラを正しく取り付ける

必ず天井取付部を使用してください。(VN-H657B)

落下防止ワイヤーは必ず接続し、取付ねじやナットはきちんと締め付けてください。

正しい電源、電圧で使用する

本機に電源を供給するには、AC24 V 50 Hz/60 Hz、または PoE Plus

(IEEE802.3at Type2)を使用します。正しい電圧で使用してください。

AC24 V は必ず一次電源から絶縁されたものを使用してください。

定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにサービス窓口へ連絡してください。

定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにサービス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加するなどの対応をとってください。

定期的に点検してください

取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。

本機にぶら下がったり、ゆすったり、物を引っ掛けたりしないでください。過度の荷重がかかると、本機が落下してけがや事故の原因となります。

本機を改造しないでください。事故の原因となります。

内部に物を入れしないでください。金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	2
もくじ	3
特長	4
正しくお使いいただくためのご注意	5
添付物・付属品	10
各部の名称	10
VN-H657B	10
VN-H657WPB	12
microSD カードについて	14
アラーム入出力信号について	15

カメラの設置要件

動作環境	16
ネットワークについて	16
映像について	18
設定ページの言語選択について	18
各ユーザーが使用できるページについて	19

カメラの取り付け

設置・接続の準備(VN-H657B)	20
カメラ本体の取り付け(VN-H657B)	24
設置・接続の準備(VN-H657WPB)	27
カメラ本体の取り付け(VN-H657WPB)	31

IP アドレスの設定

IP アドレスの設定手順	34
Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定	34
Step2 Internet Explorer の設定	35
Step3 カメラとパソコンの接続	36
Step4 カメラの IP アドレスを設定	37

その他

こんなときは	39
保証とアフターサービス	44
仕様	45

特長

■ PoE (Power over Ethernet) Plus に対応

PoE Plus (IEEE802.3at Type 2)をサポートしており、LAN ケーブルからの電源供給が可能です。

- ※1 VN-H657WPB のヒーター使用時は AC24V 電源を使用してください。
- ※2 PoE Plus (IEEE802.3at Type 2 準拠)対応のハブまたは給電機器を使用してください。PoE (IEEE802.3af 準拠)対応のハブからは、電源の供給はできません。

■ デュアルストリーム・フルフレームレート配信の実現

フレームサイズ 1920×1080 と 640×480 のストリームを 30 fps で同時配信が可能です。

■ マルチエンコード

高パフォーマンスエンコーダの搭載によって、同時に 3 エンコードが可能です。

■ 高画質の実現

本機は、200 万画素 CMOS センサーと画面のザラつきを抑える 3 次元ノイズリダクションを搭載し低照度での高画質を実現しました。1080P (1920×1080) の高精細フル HD 出力に対応しています。さらにメガピクセル (1280×960)、HD720P (1280×720)、D1 (720×480)、VGA (640×480)、HVGAW (640×360)、SIF (352×240)、QVGA (320×240) の各解像度による出力が可能です。

■ 高倍率ズームレンズの採用

光学 18 倍の高倍率レンズによって、きめ細かな監視が可能です。また、高倍率ながら最大口径比 F1.6 (WIDE 端) と明るいレンズのため、カラーモード時 0.7 lx (AGC High, 50 %) の高感度を実現しています。

■ 高精度の高速回転機構を装備

ダイレクトドライブ方式回転機構を採用し、水平約 400 %/s、垂直約 400 %/s の高速回転によって、プリセットポジションへすばやく移動が可能です。また減速機構を持たないため、停止精度、耐久性が高く、低速でも滑らかに回転が行えます。

■ 昼夜監視可能

赤外線カットフィルター挿抜機構を装備していますので、夜間などの低照度時は赤外線カットフィルターを OFF することで高感度モード (白黒) に切り換えることができます。

■ プライバシーマスク機能の搭載

撮影する場所に、映したくない場所がある場合、その部分を塗りつぶす設定が可能です。

■ 動き検出機能搭載

設定したエリア内の映像の動きを検知し、アラーム出力することができます。アラーム入力によってプリポスト記録した JPEG 画像ファイルを FTP サーバーに送信できます。

■ マルチキャストに対応

マルチキャスト対応によって、同じ画像データをネットワーク上の複数のパソコンへフレームレートを下げることなく一度に送信することが可能です。

■ HTTP による API

HTTP による API を備えています。これを使用してネットワーク経由での設定・制御が可能です。

■ 統合ビューワーソフト内蔵

カメラ映像 (JPEG または H.264) をパソコンでモニタリングするための統合ビューワーを内蔵しています。カメラの設定、制御も可能です。使いやすさを追求した GUI を採用しています。

■ 音声の入出力可能

外部マイクを接続して音声をカメラからパソコンに入力できます。また、パソコンに入力した音声をネットワーク経由でカメラから音声を出力することもできます。

■ microSD カード記録機能の搭載

microSD カードを使用して監視映像を記録したり、microSD カードに記録した映像をネットワーク経由で見たりすることができます。

■ 「ワンタッチロックメカ」採用 (VN-H657B)

着脱が容易な独自の「ワンタッチロックメカ」を採用し、簡単設置とイーザーメンテナンスを実現しました。

■ 防水性・耐候型筐体の採用 (VN-H657WPB)

防塵・防滴構造で、雨の影響も受けないため、直接屋外に設置することができます。(IP66 仕様)

- ※ VN-H657B は屋内仕様です。屋外や水分のかかる場所での使用はできません。

この取扱説明書の見かた

- 本書は、本機の設置方法および IP アドレスの設定について説明しています。
- 付属 CD-ROM 内の取扱説明書には、本書に記載されている本機の説明や設置方法に加えて、Internet Explorer を使った設定および統合ビューワの操作についても説明しています。カメラの設定や統合ビューワの操作につきましては、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」をお読みください。
- 付属 CD-ROM には、「取扱説明書」(pdf)、「API ガイド」(pdf)、「JVC-VN 検索ツール」、「JVC-VN-IP 設定ツール」、「README」(txt)が含まれています。
- 出先などからは、Android 端末または iPhone 端末でモバイルユーザーガイドをご覧ください。モバイルユーザーガイドは、Android 端末および iPhone 端末に標準搭載のブラウザで閲覧することができます。詳しくは、下記 URL にアクセスしてください。
<http://manual3.jvckenwood.com/pro/mobile/jp/>

本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
☞ : 参考ページや参照項目を示しています。

本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows、Internet Explorer、ActiveX は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- iPhone は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- Android は、Google Inc. の商標および登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- 機種固有の機能や設定値などについては、機種名およびシリーズ名を記載しています。

正しくお使いいただくため のご注意

最新情報について

- 最新のファームウェアについては、弊社の Web サイトでご確認ください。
(最新のファームウェアはダウンロードページに記載されています。)
http://www3.jvckenwood.com/pro/pro_download.html
- ファームウェアのアップデートについては、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で[メンテナンス]ページのファームウェアの項目をご覧ください。

保管および使用場所

- VN-H657B は、屋内用カメラです。屋外での使用はできません。
- VN-H657B は、吊り下げ専用です。必ずカメラが水平になるように設置してください。据え置きや傾けて使用すると正しく動作しません。
- VN-H657WPB は、壁付け仕様です。必ずカメラ部が水平になるように設置してください。据え置きや傾けて使用すると正しく動作しません。
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用された場合、映像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。本機は本体表面から放熱を行なっています。
- エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たる所、あるいは温度の高い所に設置しないでください。ドームカバー内部が結露することがあります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。誤動作や故障の原因となります。
 - 許容動作湿度(20%RH~90%RH)範囲外の湿度の多いところ(結露なきこと)
 - 変圧器やモーターなど強い磁器を発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 車両や船舶などの振動するところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 可燃性雰囲気などの特殊環境
 - 放射線や X 線、および塩害や腐食性ガスの発生するところ
 - プールなど、薬剤を使用するところ

- ・ 許容動作周囲温度の範囲外の暑いところや寒いところ

許容動作周囲温度 (VN-H657B)

-10℃～50℃

許容動作周囲温度 (VN-H657WPB)

AC24V 電源使用時 : -40℃～55℃

PoE Plus 電源使用時 : -10℃～55℃

-10℃～60℃(※1)

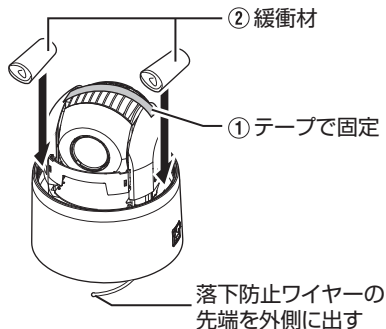
※1 : microSD カード機能および音声機能を使用しない場合

- ・ VN-H657WPB は、PoE Plus 電源使用時はヒーターが動作しません。-10℃以下の環境下で使用する場合は、AC24V 電源で使用してください。
- ・ VN-H657WPB を低温(-40℃～-20℃)の環境下で電源を入れた場合、内蔵のヒーターによって内部が温まるまでのあいだ(最長 2 時間)は、本機にアクセスできません。低温環境下では常時、通電して使用することを推奨します。
- ・ VN-H657WPB は IP66 準拠ですが、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。

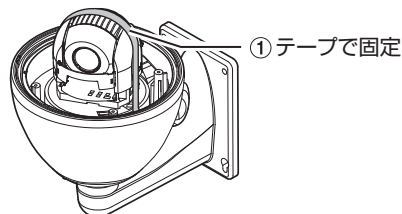
輸送について

- ・ 本機の入っていた箱は捨てずに取っておき、輸送する場合は、この箱を使用してください。
 - ・ カメラ部が非常に回転しやすい構造のため、輸送時はドームカバー内部のカメラ部が回転しないように固定してから輸送してください。カメラ動作に不具合が発生する場合があります。
- ① レンズを水平に向け、レンズ部をテープで固定する。
 - ② エアキャップなど(約 50 mm × 約 200 mm)を巻いた緩衝材をカメラの対面 2 か所に入れる。
- ・ 輸送時、カメラ本体にカメラの天井取付部を取り付ける場合、落下防止ワイヤーを挟み込まないように落下防止ワイヤーの先端を外側に出してください。落下防止ワイヤーが挟み込まれると、カメラ本体と天井取付部がはずれなくなるおそれがあります。(VN-H657B)

VN-H657B の場合



VN-H657WPB の場合



移動について

- ・ 移動するときは接続ケーブル類ははずしてください。
- ・ 移動するときは、システム電源を切ってください。
- ・ 衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。
- ・ 本機に振動や衝撃を与えないようていねいにお取り扱いください。

著作権保護に関して

- ・ お客様ご自身が、素材画像・音声の著作権者であるか、または素材画像・音声の著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像、音声として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像・音声として使用する場合、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- また、被写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、使用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。

著作権について

- 本機で撮影したものを営業目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので注意してください。
- 撮影したものは、一部の例外を除き著作権上、権利者に無断で使用できません。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり曇ったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。
- 長期間同じポジションを監視する場合、水平回転部の接点抵抗の増加によって映像にノイズが発生したり、パソコンからの操作が不安定になることが考えられます。そのため1週間に1回クリーニングを行うオートクリーニング機能を備えています。

microSD カードの取り扱いについて

- カメラ内部に物を入れないでください。microSD カードスロットに microSD カード以外の物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。
- microSD カードを分解したり改造をしないでください。
- 本機の電源を切ったり、microSD カードを取り出したときは、必ず[microSD カード記録]ページで[マウント解除]ボタンを押してから行なってください。microSD カードに書き込み中に電源を切ったり、取り出したとき、カード内の記録データが破損します。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で[microSD カード記録]ページの「[microSD カード]」をご覧ください。
- microSD カードの記録データが破損している可能性があるときは、microSD カードを本機から取り出し、必要な記録をバックアップしてください。そのあとに、SD Association が配布する SD フォーマッター(4.0 以降)を使用して microSD カードをフォーマットし、本機に挿入してください。SD フォーマッターは、以下の Web サイトから入手できます。
<https://www.sdcard.org/jp/downloads>
- microSD カードには書き換え回数に上限があり、上限に近づくとき記録や再生が正しく行なえなくなります。記録データの破損や再生異常があった場合は、microSD カードを新品と交換してください。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用や保管をしないでください。
- microSD カードは正しい向きで挿入してください。間違った向きで、無理に挿入すると、本機や microSD カードの故障の原因となります。
(☞ p.25 [microSD カードを挿入する (VN-H657B)])
(☞ p.29 [microSD カードを挿入する (VN-H657WPB)])
- 万一の事故による保存データの損害は、弊社で一切の責任を負いかねます。必要なデータは、パソコンなどにバックアップしてください。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で[microSD カード]操作画面の「[動画出力(Y/M/D-h:m:s)]メニュー」をご覧ください。
- microSD カードに記録したデータを完全に消去したい場合は市販のデータ消去ソフトを使用するか、または microSD カードを金槌などで物理的に破壊することをお勧めします。
- 使用条件の範囲で使用ください。次の場所では使用しないでください。
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 熱機器の近く
 - ・ 炎天下の窓を閉め切った車の中
 - ・ 湿気の多い場所や腐食性のある場所など
- 曲げたり、落としたり、また強い衝撃や振動を与えないでください。
- 水でぬらさないでください。
- 接続端子部に触らないでください。
- 接続端子部にホコリやゴミ、水分や異物を付着させないでください。
- microSD カードにははられているラベルをはがしたり、別のラベルやシールをはがたりしないでください。故障の原因となります。
- microSD カードに文字を書く場合は鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ずフェルトペンを使用してください。
- microSD カードによっては、本機から取り出しにくいものがあります。
- microSD カードを取り出すときに、勢いよく飛び出ることがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。

免責について

- 動き検出機能、妨害検出および異音検出機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 本機のカメラ映像および音声によってプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した損害に対する責任は一切負いません。
- CMOS 撮像素子を使用した本機はローリングシャッター方式の防犯カメラです。旋回台に搭載した撮影や動く被写体を撮影する場合に、建物の柱や被写体がゆがみ、実際とは違う映像が出力されます。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

オートフォーカスについて

- 本機はパン/チルト/ズーム(PTZ)動作の停止後にオートフォーカス動作を行うことができます。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で [PTZ 制御] ページの「イージー AF」をご覧ください。
- 本機のオートフォーカス機能は、カメラの設定、被写体や光源の状態によっては、フォーカスが合わせられない場合があります。この場合は、手動でフォーカスを合わせてください。
- オートフォーカスが合わせにくい被写体
 - 画面の輝度が極端に高い(明るい)とき
 - 画面の輝度が極端に低い(暗い)とき
 - 画面の輝度が常に変化しているとき(点滅中のライトなど)
 - コントラスト(明暗差)がほとんどないとき
 - 画面上に繰り返しの縦縞パターンがあるとき
- オートフォーカスが動作困難な設定
 - AGC で感度アップし画面がザラついているとき
 - 電子感度アップで画面の動きが少ないとき
 - 電子ズーム中で十分な輪郭成分がないとき

ズーム動作について

- 以下の現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。
 - 手動操作あるいはプリセット選択によって TELE 端付近でズーム動作が止まったあとに、フォーカスがかすかに動く。
 - 手動操作中のズーム動作がなめらかでない。
 - プリセット選択をしたとき、ズーム動作中、瞬間的にフォーカスがずれる。

ユーザー名とパスワードについて

- 工場出荷時のユーザー名とパスワードは、広く公開されているため変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない文字と数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。また、ユーザー名とパスワードは、定期的に変更してください。

その他

- 本機は電源投入後、パン/チルト/ズーム/フォーカスの初期動作を行います。初期動作が開始されるまでに 90 秒程度かかりますが、故障ではありません。
- レンズを太陽などの強い光源に向けないでください。故障の原因となります。
- 本機は CMOS 撮像素子を使用しているため、本機を速くパン/チルトさせた場合や被写体が高速で動いた場合、被写体の形状がひずんだ映像となることがあります。
- 本機は AGC 回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面にノイズが目立つ場合がありますが、これは故障ではありません。
- AGC が動作中、トランシーバーなど強い電波を発生する機器を本機の近くで使用すると、映像にビートなど発生することがあります。トランシーバーなどを使用する場合は、本機から 3 m 以上はなれて使用してください。
- アイリス設定を“オート”にした場合、[AGC] が“Mid”または“High”のときに明るさが変化しない場合があります。その場合はアイリス設定を“マニュアル”で設定するか、[AGC] を“OFF”にしてください。
- 本機をホワイトバランス“ATW-Narrow”、“ATW-Wide”、“ATW-Full”(自動調整)で使用したとき、自動色温度追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なる場合がありますが、故障ではありません。
- ドームカバーは、直接手で触れないでください。カバーが汚れると画質劣下の原因となります。
- 高湿時、急激な温度変化によってドームカバーが曇ることがあります。
- 外来の雑音などによって、アラーム信号ケーブルの長さが 50 m 以下でもアラームが誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。
- 回転機構の水平/垂直回転速度や、停止位置によって、回転機構のモーター動作音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 音声入出力にて回転機構の水平/垂直回転時、ズーム時、電源 ON/OFF 時、microSD 動作時に雑音が発生する場合がありますが、故障ではありません。
- マイクゲインの設定値が高いとき、音声に雑音が目立つ場合がありますが、これは故障ではありません。

- マルチキャストを使用する場合は、IGMPv2に準拠したネットワークスイッチを使用してください。
- インテリジェント機能搭載のスイッチングハブの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。
- 本機は電子シャッターを出荷時“1/30”に設定しています。商用電源周波数 50 Hz の地域で蛍光灯下（インバーター照明器はのぞく）では、ちらつき（フリッカー）を防ぐため“フリッカレス”に切り換えて使用してください。
- 画面上の暗い領域は、ざらついたり、白点が増えることがあります。また、カラー画像と白黒画像の切り換わり時に、画面の明るい部分が強調され見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって電源電圧が瞬間的に断たれる、または低下した場合、映像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- ドームカバーは、半球形をしているため半球の端では像のゆがみが発生します。本機では半球の端をマスクしており、チルト方向で水平を映すと半球の端が画角に入るため、画面の上端が黒くなったり、フォーカスが甘くなる場合があります。その場合は、チルトリミットの設定によって、上記エリアを映さないようにすることができます。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で [PTZ] ページのチルトリミットをご覧ください。
- 光源（照明など）の付近や輝度差のある被写体を撮影すると、画面上にゴーストが発生することがありますが、これはドームカバーと内蔵レンズの特性によるもので、故障ではありません。
- 特に TELE 端（望遠側）付近において、手動操作、オートパン動作をすると、画面が振動して見える（回転動作が滑らかでない）ことがあります。これらの現象はモーターの性能によるもので故障ではありません。
- 本機は高倍率レンズを使用しているため、温度変化によってフォーカスが甘くなる場合がありますが故障ではありません。
- フォーカスをプリセットする場合は、実際に使用する環境の温度に近い状態で、プリセットを行なってください。また、温度変化が大きくフォーカスが甘くなった場合は、再度プリセットし直してから使用してください。
- 使用中の温度変化によってフォーカスが甘く感じたときは、オートフォーカス機能を使用するか、手動操作でフォーカスを取り直して使用してください。
- 電源を切った状態や停電が長時間続いた場合は、本機内部の時計が大きくずれることがあります。そのような場合には、時刻を設定しなおしてください。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で [時刻] ページをご覧ください。
- 統合ビューワーで視聴時に音声がずれる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機内部のファンは消耗部品です。ファンが何らかの原因で停止したとき、映像に“Caution: The fan is stopped”と表示されます。アラームトリガーの設定でファン停止をメールや TCP 通知などで知らせることができます。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で [アラーム] ページをご覧ください。
- ファンが停止した場合は、本機の電源を切り、最寄りのサービス窓口へお問い合わせください。
- 大切な撮影の場合は、必ず事前に動作確認をしてください。
- ビデオカメラや録画機器の使用で、万が一これらの不都合によって録画されなかった場合、録画内容の補償や機会の損失についてはご容赦ください。
- 動き検出機能、妨害検出および異音検出機能は、簡易的な機能であり、警報機の代用として使用することはできません。これらの機能で検出できなかった場合、または誤検出したことによる一切の不便や損害については補償できません。またアラーム入出力に対して動作不具合の場合に発生した不便や損害は補償できません。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

添付物・付属品

本機を取り付ける前に、以下の添付物・付属品が揃っていることをご確認ください。

VN-H657B

- 取扱説明書(設置/IP 設定編): 1
- 安全上のご注意: 1
- 保証書: 1
- テンプレート: 1
- CD-ROM: 1
- ワイヤークランプ: 1
- オーディオケーブル: 1

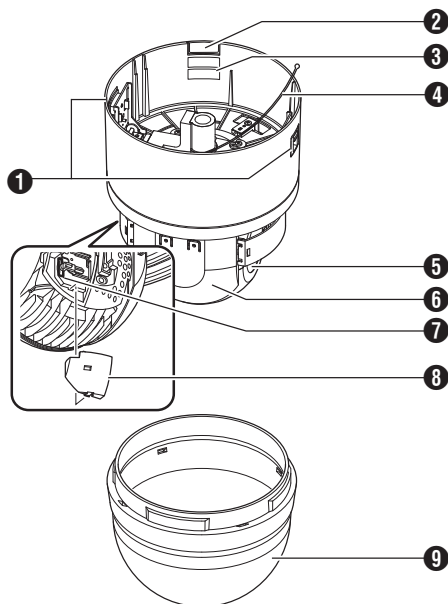
VN-H657WPB

- 取扱説明書(設置/IP 設定編): 1
- 安全上のご注意: 1
- 保証書: 1
- CD-ROM: 1
- シリカゲル: 3

各部の名称

VN-H657B

カメラ本体



- ① カメラ本体固定ロックノブ(2か所)
カメラを天井に取り付け、落ちないように固定します。
- ② ケーブルカバー
ケーブル類を横出ししてカメラを取り付ける場合、カバーをはずします。
(☞ p.23 [ケーブルを横出しする場合])
- ③ [MAC address]MAC アドレス表示部
MAC アドレスは、製品固有の物理アドレスです。変更はできません。
- ④ 落下防止ワイヤー
天井取付部の「落下防止ワイヤー固定金具 ⑱」にかけます。
- ⑤ レンズ部(カメラモジュール)
レンズだけを交換することはできません。
- ⑥ カメラ部
- ⑦ microSD カードスロット
microSD カードを挿入します。
(☞ p.25 [microSD カードを挿入する (VN-H657B)])
- ⑧ microSD カバー

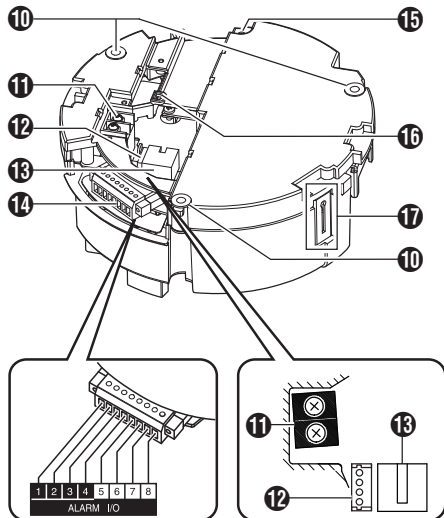
- 9 ドームカバー
ドームカバーは傷が付きやすいので、取り扱いには注意してください。

ご注意:

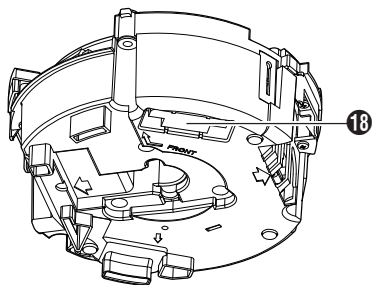
- 出荷時にはついている保護シートは、ドームカバーを本体に取り付けるまではがさないでください。

天井取付部

端子側



裏側



- 10 固定用穴(3か所)
天井あるいは、天井埋込ブラケット(WB-S685 別売)などに取り付けるための穴です。
- 11 [AC24Vへ、INPUT] AC24 V 入力端子
AC24 V 電源と接続します。
(☞ p.21 [電源ケーブルを接続する])

- 12 オーディオ端子
付属のオーディオケーブルを接続します。

オーディオケーブルの信号一覧

ケーブルの色		信号名
茶	白	マイク入力
	黒	GND
黒	白	ライン出力
	黒	GND

- 13 [10BASE-T/100BASE-TX] LAN ケーブル接続
端子
ネットワークと接続します。

PoE Plus (IEEE802.3at Type2)に対応しており、電源配線なしで本機を使用できます。
(☞ p.22 [LAN ケーブルを接続する])

- 14 アラーム信号端子(8ピン)
アラーム信号ケーブルを接続します。
(☞ p.15 [アラーム入出力信号について])
(☞ p.22 [アラーム信号端子にアラーム信号ケーブルを接続する])

アラーム信号端子の信号一覧

ピン番号	信号名
1	INPUT1
2	INPUT1 COM
3	INPUT2
4	INPUT2 COM
5	OUTPUT1
6	OUTPUT1 COM
7	OUTPUT2
8	OUTPUT2 COM

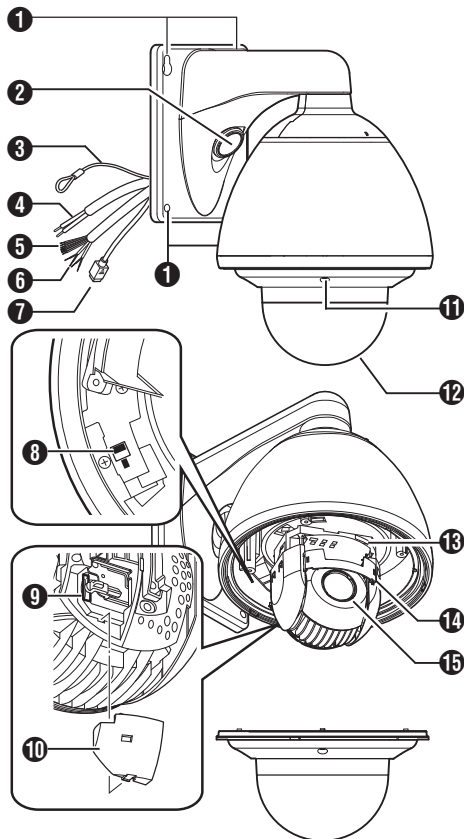
- 15 落下防止ワイヤー(天井用)取付穴
万一のカメラ落下に備え、この穴に天井スラブまたはチャンネルからの落下防止ワイヤー(天井用)を取り付けます。

メモ:

- 落下防止ワイヤー(天井用)は付属されておりません。

- 16 ワイヤークランプ固定穴
ワイヤー類を束ねるときに使用します。
- 17 落下防止ワイヤー固定金具
カメラ本体の「落下防止ワイヤー 4」をひっかけます。
- 18 カメラ接続端子(メス)
カメラ本体の接続端子(オス)と接続します。

VN-H657WPB



- ① カメラ本体固定用穴(4か所)
カメラ本体を壁に取り付けるための穴です。
- ② ケーブル接続用穴、キャップ
キャップをはずしてケーブル類をこの穴から出し、ケーブル類の接続を行います。
(☞ p.30 [ケーブル接続用のキャップをはずす])
- ③ 落下防止ワイヤー
カメラ本体と壁をつなぎます。壁に立てた落下防止ワイヤー取付用のアンカーボルトにしっかり固定してください。
(☞ p.31 [落下防止ワイヤーを取り付ける])
- ④ AC24 V 電源ケーブル
AC24 V 電源と接続します。
(☞ p.31 [電源ケーブルを接続する])
- ⑤ アラーム信号ケーブル(8本)
アラーム入力、アラーム出力ケーブルです。
(☞ p.32 [アラーム信号ケーブルを接続する])

アラーム信号ケーブルの信号一覧

ケーブルの色	信号名
茶	入力 1
赤	入力 1 (COM)
オレンジ	入力 2
黄	入力 2 (COM)
緑	出力 1
青	出力 1 (COM)
紫	出力 2
灰	出力 2 (COM)

- ⑥ オーディオケーブル(4本)
マイク入力、ライン出力ケーブルです。

オーディオケーブルの信号一覧

ケーブルの色		信号名
白	白	マイク入力
	黒	GND
ライトグリーン	ライトグリーン	ライン出力
	黒	GND

- ⑦ LAN ケーブル
ネットワークと接続します。
PoE Plus (IEEE802.3at Type2)に対応しており、電源配線なしで本機を使用できます。
(☞ p.32 [LAN ケーブルを接続する])

- ⑧ ヒーター ON/OFF スイッチ
内蔵ヒーターの ON/OFF スイッチです。
低温でカメラを使用するためのヒーターが内蔵されています。ヒーターが不要な場所に設置する場合は、ヒーターのスイッチを OFF にしてください。ON にすると内部の温度が適切になるようにヒーターを自動制御します。通常は ON で使用します。
(☞ p.28 [設置・接続の準備 (VN-H657WPB)])
- ⑨ microSD カードスロット
microSD カードを挿入します。
(☞ p.29 [microSD カードを挿入する (VN-H657WPB)])
- ⑩ microSD カバー
- ⑪ ドームカバー固定ねじ(4 か所)
- ⑫ ドームカバー
ドームカバーは傷が付きやすいので、取り扱いには注意してください。
- ご注意： _____
- 出荷時にはある保護シートは、設置が完了するまではがさないでください。
-
- ⑬ [MAC address]MAC アドレス表示部
MAC アドレスは、製品固有の物理アドレスです。変更はできません。
- ⑭ カメラ部
- ⑮ レンズ部(カメラモジュール)
レンズだけを交換することはできません。

microSD カードについて

本機では、撮影した映像をカードスロット内の microSD カード(別売)に記録できます。

はじめに

本機で使用可能な microSD カードについて

microSD カードは下記の仕様のものを使用してください。

- Class10 以上対応の microSDHC カード(16 GB ~ 32 GB)動作保証温度 85 °C 以上のもの

下記 microSD カードは本機に接続して、動作確認を行なっております。

- Panasonic RP-SMEB16GJK
- 東芝 MUH-A032G
- SanDisk SDSQU-032G-J35A

※ 上記条件を満たす microSD カードすべての動作を保証するものではありません。

メモ :

- microSD カバーおよびドームカバーを開けた状態で長時間放置しないでください。内部にごみが入り、故障の原因となる場合があります。
- 本機の電源を切ったり、microSD カードを取り出したりするときは、必ず[microSD カード記録]ページで[マウント解除]ボタンを押してから行なってください。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[microSD カード記録]ページ」をご覧ください。
- 動作確認していない microSD カードを使用する場合は、記録設定できても正常に記録ができない場合があります。
- microSD カードを取り出す場合は、microSD カードを軽く奥に押し込むと、ロックがはずれて取り出せるようになります。勢いよく飛び出すことがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。
- microSD カードによっては、本機から取り出しにくいものがあります。
- microSD カードの挿入および交換は、本機の電源を切った状態で行なってください。

ご注意 :

- 本機では microSD カードがフォーマットできません。フォーマットするときは、SD Association が配布する SD フォーマッター(4.0以降)を使用して microSD カードをフォーマットし、本機に挿入してください。SD フォーマッターは、以下の Web サイトから入手できます。
<https://www.sdcard.org/jp/downloads>

microSD カードの挿入について

microSD カードの向きを間違えると、カメラや microSD カードを破損する恐れがあります。microSD カードの差し込み口の挿入マークにあわせて、正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

詳しくは、以下をご覧ください。

- p.25 [microSD カードを挿入する (VN-H657B)]
- p.29 [microSD カードを挿入する (VN-H657WPB)]

microSD カードへの記録時間のめやす

以下の記録時間についてはめやすです。撮影環境や、お使いになる microSD カードによって異なることがあります。

エンコーダーのビットレート設定	microSD カード容量毎の記録可能時間 [時間]	
	16 GB	32 GB
64 kbps, CBR	458	915
128 kbps, CBR	229	457
256 kbps, CBR	114	228
384 kbps, CBR	76	152
512 kbps, CBR	57	114
768 kbps, CBR	38	76
1024 kbps, CBR	28	57
1536 kbps, CBR	19	38
2048 kbps, CBR	14	28
3072 kbps, CBR	9	19
3584 kbps, CBR	8	16
4096 kbps, CBR	7	14
8192 kbps, CBR	3	7

アラーム入出力信号について

アラーム入力信号

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。

メモ： _____

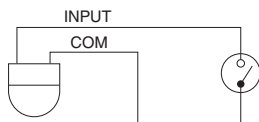
- [詳細設定]ページの[アラーム]ページで接点がショート(メイク)時にアラームとするか、接点がオープン(ブレイク)時にアラームとするか設定可能です。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[アラーム]ページ」をご覧ください。

- アラーム信号は 500 ms 以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。

ご注意： _____

- 電圧を供給しないでください。



定格

ローレベル端子電流 : 1 mA 以下

ハイレベル端子電圧 : DC 3.3 V

アラーム出力信号

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。

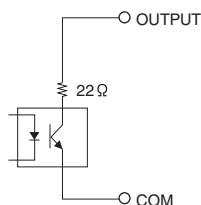
- アラーム出力信号はフォトカプラーで絶縁されたオープンコレクター出力となっています。

メモ： _____

- [詳細設定]ページの[アラーム]ページでアラーム時の接点をショート(メイク)とするかオープン(ブレイク)とするかを設定可能です。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[アラーム]ページ」をご覧ください。

ご注意： _____

- この端子は、極性がありますので必ず COM 側出力より OUTPUT 側出力の電圧が高くなるよう接続してください。
- 逆電圧を加えると破損します。



定格

最大印加電圧 : DC 20 V

最大駆動電流 : 25 mA

動作環境

ネットワークについて

カメラの設置要件

推奨するパソコンの仕様

- OS : Windows 8.1、Windows 8 Pro、Windows 7 Professional (SP1)、Windows XP Professional または Home Edition (SP3)
- CPU : Intel Core i5 3 GHz 以上
- メモリー容量 : 2 GB 以上
- ハードディスク : 512 MB 以上の空き容量
- 空容量
- ディスプレイ : 1920×1080 ピクセル以上、True Color (24ビットまたは 32ビット)、VRAM 1 GB 以上を推奨
- Web ブラウザ : Internet Explorer Version 8.0、Version 9.0、Version 10.0、Version 11.0

ご注意:

- 推奨するパソコンの仕様欄に記載したバージョンの Internet Explorer 以外の Web ブラウザは、動作を保証するものではありません。
- Windows 8.1、Windows 8 のタッチ操作には対応していません。
- 統合ビューワーは ActiveX というソフトウェアコンポーネントで構成されています。はじめて統合ビューワーを使ったときに ActiveX がインストールされますが、アンチウイルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールを拒否する場合があります。そのような場合にはアンチウイルスソフトの設定を変更してください。
- CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、カメラからの映像がなめらかに見えない場合がありますが、これは故障ではありません。カメラの設定によって、この症状を改善できることがあります。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[エンコード]ページ」をご覧ください。
- パソコンに内蔵されているサウンドカードによっては、再生音にノイズが入る場合があります。

LAN 環境

- IEEE802.3 準拠のスイッチングハブなどで相互に接続された 10BASE-T/100BASE-TX ネットワーク
- PoE plus を使用する場合は、IEEE802.3at 準拠のスイッチングハブなど
- マルチキャストを使用する場合は、IGMPv2 準拠のネットワーク

- カメラが送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を越えるマルチキャストストリームを流さないでください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由でカメラを制御できなくなる場合があります。
- カメラが送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は約 40 Mbps です。
- 最大 20 クライアントまで同時サポート可能です。

フレームレートとフレームサイズ

本機は最大 3 チャンネルの同時エンコードが可能ですが、設定可能なフレームサイズとフレームレートの組み合わせに制約があります。組み合わせの制約について詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「付録(マルチエンコード時の制約)」をご覧ください。

JPEG ストリームのビットレート

1 枚あたりの JPEG ファイルのサイズは、エンコードの設定やカメラ映像によって異なります。“AFS”を選択した場合は、複数の JPEG の平均サイズが目標ファイルサイズになるようにエンコードされます。“VFS”を選択した場合は、JPEG エンコード時の量子化テーブルは一定に保たれ、ファイルサイズはカメラ映像に応じて増減します。1 枚あたりの JPEG ファイルサイズが 120 KB であれば、総ビットレートは次のようになります。 $120 \text{ KB} \times 15 \text{ fps} = 1800 \text{ KB/s} \approx 14.4 \text{ Mbps}$ “マルチエンコード”を選択している場合には、チャンネルごとに JPEG のファイルサイズが異なる設定も可能です。例えば、ファイルサイズが 30 KB である JPEG を 2 fps、ファイルサイズが 10 KB である JPEG を 3 fps 送信している場合、総ビットレートは次のようになります。 $30 \text{ KB} \times 2 \text{ fps} + 10 \text{ KB} \times 3 \text{ fps} = 90 \text{ KB/s} \approx 0.72 \text{ Mbps}$

H.264 ストリームのビットレート

H.264 ストリームのビットレート方式は、VBR(可変ビットレート)または CBR(固定ビットレート)のいずれかの方式を選択できます。

VBR 方式はカメラ映像の状況に応じてビットレートが変化します。VBR 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。CBR 方式はカメラ映像の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。CBR 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。VBR、CBR とも、目安としてのビットレートを設定できます。(64 kbps ~ 8192 kbps)

なお、H.264 Baseline は同時に複数のエンコーダに設定することができません。フレームサイズが 1280×720 以下でビットレート 1.5 Mbps 以下を 1 チャンネルだけ設定できます。

音声のデータ量

送信する音声データのストリーミング本数は最大で 2 本です。受信する音声データのストリーミング本数は最大で 1 本です。音声データは 1 本あたり 64 kbps です。音声のデータ量は次の式で計算できます。

64 kbps × 本数

ストリーミング本数は TCP で送信している本数(クライアントの数)、マルチキャストで送信している本数、および受信している本数を合計したものです。例えばカメラが 2 本の音声を送信し、1 本の音声を受信している場合、データ量は次のようになります。

64 kbps × 3 = 192 kbps

ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数(フレームレート)が少なくなります。また、画像配信が遅延します。H.264 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの ACK を確認しつつカメラは送信します。遅延が大きいネットワークでは ACK を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。H.264 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下はなくなります。

ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、画像のフレームレートの低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

パケットロス

カメラから TCP で画像を取得する場合は、パケットロスが TCP の再送によってリカバリーされません。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、画像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

カメラからのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合は、画像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

使用するプロトコル、ポート番号一覧

カメラでは下記のプロトコル、ポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

プロトコル/ポート番号	用途
送信元	
TCP/80	JPEG/H.264 取得、Web 設定ページ、API、音声取得
TCP/554	RTSP
TCP/32040	アラーム送信
TCP/49298	音声データ受信
宛先	
TCP/ユーザー設定番号	アラーム送信
UDP/ユーザー設定番号	
TCP/20、21	FTP
TCP/25	メール送信
TCP/110	POP(メール送信)
UDP/123	SNTP
UDP/161	SNMP

運用プロトコルについて

ONVIF について

本機は、ONVIF (Open Network Video Interface Forum) に対応しています。

ONVIF は、監視機器のネットワークプロトコルを標準化している団体です。

ONVIF では、監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。

ユーザー名、パスワードの初期値は次のとおりです。

ユーザー名 : admin

パスワード : jvc

また、本機は ONVIF Profile S を満たしています。

映像について

H.264 のプロファイルについて

本機は H.264 Baseline Profile と H.264 High Profile に対応しています。

High Profile は少ないビットレートで高画質を維持できますが、デコーダ側が High Profile に対応している必要があり、デコーダ側の処理負荷も大きくなります。

Baseline Profile は High Profile に比べ圧縮性能が劣りますが、デコーダ側の処理負荷は High Profile よりも軽減されます。

デコーダが十分な処理能力を持っている場合は High Profile の選択をお勧めします。

設定ページの言語選択について

設定ページ右上には言語を選択するラジオボタンがありますが、言語については使用しているパソコンの OS 環境に合わせて自動的に設定されません。もし英語 OS を使用中に“Japanese”を選択した場合、日本語環境がないために正しく表示されないことがあります。必ず使用しているパソコンの OS の言語環境に合わせて設定ページを使用してください。

- 設定ページについて詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「設定ページの開きかた」をご覧ください。

Japanese English(Custom)

メモ：

- 言語を設定すると、次回から設定した言語で表示されます。
- “English(Custom)”を選択したときの各設定ページの操作については、付属 CD-ROM の「VN-H657BU/VN-H657WPBU INSTRUCTIONS」(英語)をご覧ください。ただし、各ページの工場出荷値は機種ごとに異なります。VN-H657B/VN-H657WPB の工場出荷値は、“English(Custom)”を選択した場合でも、「取扱説明書」(pdf)の記載どおりとなります。

各ユーザーが使用できるページについて

ユーザー名とパスワードの入力

カメラにアクセスすると、ユーザー名とパスワードの入力を要求されます。

カメラにはアクセス権限のレベルが3つあり、工場出荷時には次のように設定されています。

- **admin**
すべての操作および設定変更が可能です。
(工場出荷時のパスワード: "jvc")
- **operator**
[基本設定 1]、[ネットワーク]、[プロトコル]、[アクセス制限]、[時刻]、[パスワード]および[メンテナンス]は操作・設定変更できません。
(工場出荷時のパスワード: "jvc")
- **user**
画像の閲覧および一部の操作が可能です。
(工場出荷時のパスワード: "jvc")

メモ: _____

- Internet Explorer からカメラにアクセスする方法については、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「設定ページの開きかた」をご覧ください。

各ユーザーがアクセスできるページ

各ユーザーがアクセスできるページは限定されています。また、設定ページ上のリンクの表示もユーザーのアクセス権限に合わせてアクセスできるページへのリンクのみ表示されます。

メモ: _____

- ページの一覧および詳細については、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「統合ビューワメニュー一覧」をご覧ください。

admin

トップメニュー	サブメニュー
[基本設定 1]	[ネットワーク]
	[時刻]
[基本設定 2]	[カメラ]
	[エンコード]
[詳細設定]	[カメラ]
	[エンコード]
	[音声]
	[アラーム]
	[アラーム環境]
	[FTP 記録]
	[microSD カード記録]

トップメニュー	サブメニュー
[詳細設定]	[PTZ]
	[オートパトロール 0~2]
	[プライバシーマスク]
	[動き検出]
	[異音検出]
	[妨害検出]
	[ネットワーク]
	[プロトコル]
	[マルチキャスト]
	[アクセス制限]
	[時刻]
	[パスワード]
	[メンテナンス]
	[その他]
	[動作状況]
	[機器情報]
[ポジションリスト]	
[パトロール情報 0~2]	

operator

トップメニュー	サブメニュー
[基本設定 2]	[カメラ]
	[エンコード]
[詳細設定]	[カメラ]
	[エンコード]
	[音声]
	[アラーム]
	[アラーム環境]
	[FTP 記録]
	[microSD カード記録]
	[PTZ]
	[オートパトロール 0~2]
	[プライバシーマスク]
	[動き検出]
	[異音検出]
	[妨害検出]
	[マルチキャスト] (送信・停止のみ可能)
	[その他]
	[動作状況]
[機器情報]	
[ポジションリスト]	
[パトロール情報 0~2]	

user

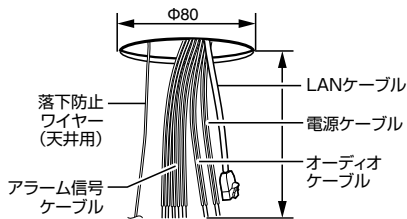
トップメニュー	サブメニュー
[詳細設定]	[その他]

設置・接続の準備 (VN-H657B)

- カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。
- 落下防止ワイヤー(天井用)は付属されておりません。事前に、落下防止ワイヤーを別途用意してください。

1 天井に穴をあけ(添付のテンプレート使用)、ケーブル類を穴から出す

- 付属のテンプレートを使用し、接続ケーブルを天井裏に通す穴(Φ80 mm)をあけてください。
- 必要に応じて、天井取付部を天井に取り付けるためのねじ穴もあけてください。その場合、カメラを正面に向けたい方向にテンプレートの“↑FRONT マーク”を合わせてねじ穴をあけてください。
- あらかじめ天井スラブなどに取り付けした落下防止ワイヤー(天井用)、電源ケーブル、LAN ケーブル、アラーム信号ケーブルおよびオーディオケーブルなどを天井から出してください。

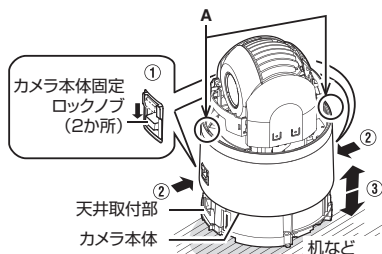


ご注意:

- 落下防止ワイヤー(天井用)は十分な強度を持った場所に取り付けてください。

2 カメラ本体から天井取付部をはずす

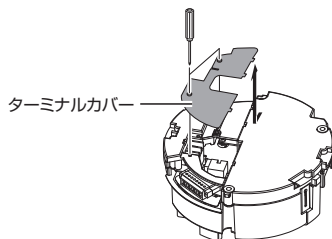
- 梱包時はカメラ本体に天井取付部が取り付けられています。設置の前にカメラ本体から天井取付部をはずしてください。



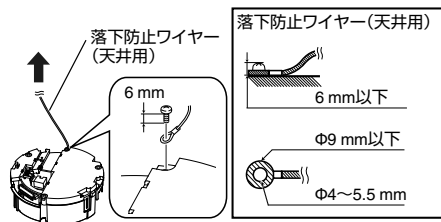
- ① 矢印の方向にスライドさせて、ロックを解除してください。
- ② 矢印の方向に左右から押し込んでください。(カメラ本体固定ロックノブが押し込みにくい場合、カメラ本体の縁(図のA)を作業している机などに押し付けながらロックノブを押し込んでください。)
- ③ カメラ本体を上部に持ち上げはしないでください。

3 ターミナルカバーをはずす

- 天井取付部のねじ2か所をゆるめて、ターミナルカバーをはずしてください。



4 落下防止ワイヤー(天井用)を取り付ける (天井と天井取付部をつなぐ)



ご注意:

- 使用する落下防止ワイヤー(天井用)は、長さ・強度・引き回し・材質(絶縁性)などにも十分注意し、ワイヤー強度 20 kg 以上のものを使用してください。
- ワイヤーは、カメラ本体に取りつける輪の部分の内径が $\Phi 4$ mm 以上 $\Phi 5.5$ mm 以下、外径が $\Phi 9$ mm 以下のものを使用してください。
- ワイヤーは、ねじ頭とワイヤーの厚み(ワッシャー含む)が、合わせて 6 mm 以下になるよう取り付けてください。6 mm 以上になるとねじが天井にぶつかりカメラ本体が水平に設置できません。
- 固定ねじは M 4 を使用してください。

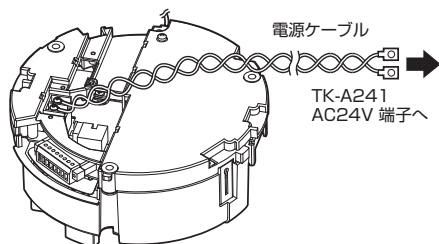
メモ:

- ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続してください。天井構造物が金属の場合、カメラとの絶縁をとらないと映像にノイズが入ることがあります。

5 電源ケーブルを接続する

- AC24 V 電源で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続してください。
- PoE plus で電源供給する場合は、電源ケーブルの接続は不要です。次の手順へお進みください。

(※ p.22 [LAN ケーブルを接続する])



AC24V と接続する場合の電源ケーブルについて(参考値)

導体直径(mm)	最大接続距離(m)
$\Phi 1.0$ 以上	40
$\Phi 1.6$ 以上	130
$\Phi 2.0$ 以上	200
$\Phi 2.6$ 以上	350

メモ:

- 工場出荷時は IP アドレスが 192.168.0.2 に設定されています。

ご注意:

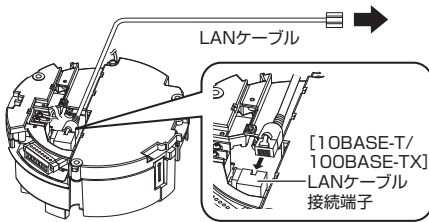
- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。
- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおり、正しくアクセスできなくなります。JVC-VN-IP 設定ツール(付属の CD-ROM 内)を使用して設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、“OUTPUT1(MAX 3.2 A)”に接続してください。“OUTPUT2(MAX 1 A)”または“OUTPUT3(MAX 1 A)”に接続すると電流容量が不足することがあります。TK-A241 の取扱説明書もあわせてご覧ください。

注意

本機に電源を供給するには、AC24 V 50 Hz/60 Hz、または PoE Plus (IEEE802.3at Type2) を使用します。正しい電圧で使用してください。AC24 V は必ず一次電源から絶縁されたものを使用してください。

定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにサービス窓口へ連絡してください。

定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにサービス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

6 LAN ケーブルを接続する

- LAN ケーブルでハブまたはパソコンに接続してください。
- ハブに接続する場合: ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合: クロスケーブルを使用してください。

使用 LAN ケーブル

- STP(シールドケーブル推奨)
- 長さ 100 m 以下
- カテゴリー 5e 以上

ご注意:

- パソコンによってはクロスケーブルを使用できない機種があります。カメラをパソコンに直結する場合には事前にパソコンの LAN 仕様を確認してください。

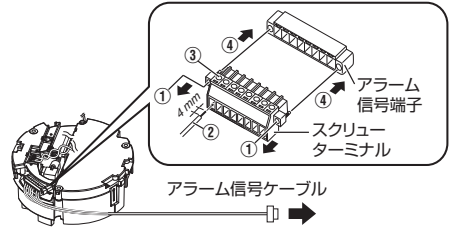
7 アラーム信号端子にアラーム信号ケーブルを接続する

- アラーム信号端子と、センサー、ブザーなどの外部機器を接続します。
- アラーム信号端子のピン番号と信号名については、以下をご覧ください。

(p.11 [アラーム信号端子の信号一覧])

- アラーム入出力について詳しくは、以下をご覧ください。

(p.15 [アラーム入出力信号について])



- ① スクリューターミナルの両端のねじをマイナスドライバーで緩めて、スクリューターミナルをはずしてください。

メモ:

- マイナスドライバーの先端をスクリューターミナルの隙間に入れると、スクリューターミナルがはずしやすくなります。

- ② アラーム信号ケーブルの被ふくを 4 mm ほどむいて、スクリューターミナルに差し込んでください。

メモ:

- ケーブルが差し込めない場合はスクリューターミナルの側面のスクリューを反時計方向に回してください。

- ③ 側面のスクリューを回しアラーム信号ケーブルを固定してください。

- ④ アラーム信号ケーブルを固定したら、① ではなくしたねじを使用して、スクリューターミナルをもとに戻してください。

使用アラーム信号ケーブル

- 長さ 50 m 以下
- UL1007 または UL1015 相当品
- AWG#22 ~ AWG#18 相当品

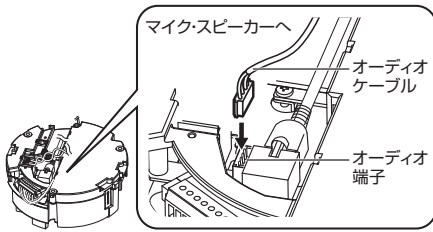
ご注意:

- 外来の雑音などによって、長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行ってください。

8 オーディオケーブルを接続する

- 事前に、オーディオ機器に接続するケーブルを別途用意してください。
- オーディオ端子にオーディオケーブル(付属)を接続し、オーディオ機器からのケーブルとオーディオケーブル(付属)をハンダ溶接またはかきめて絶縁テープで巻いてください。
- オーディオケーブル(茶/白)(マイク入力): プラグインパワー対応のコンデンサマイクなどからのケーブルと接続させてください。
- オーディオケーブル(黒/白)(ライン出力): アンプ内蔵スピーカーなどからのケーブルと接続させてください。
- オーディオケーブルの色と信号名については、以下をご覧ください。

(※ p.11 [オーディオケーブルの信号一覧])



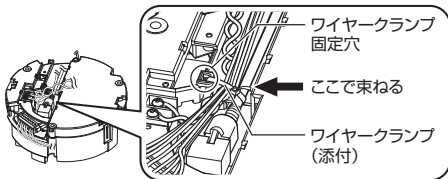
オーディオ機器との接続ケーブル(マイク入力・ライン出力)

- シールドケーブル推奨
- 長さ 5 m 以下推奨

ご注意:

- オーディオ端子にオーディオケーブル(付属)を接続するときは、コネクタの向きに注意して接続してください。

9 ケーブル類の接続が終わったら、ワイヤークランプ(添付)でケーブルを束ねる



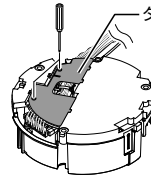
ご注意:

- ケーブルが絡まって断線するのを防ぐため、必ずワイヤークランプ固定穴にワイヤークランプを通してケーブル類を束ねてください。

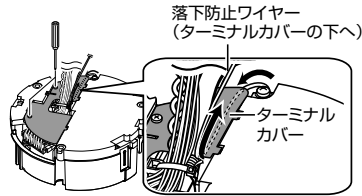
10 ターミナルカバーを取り付ける

- 手順 3 でははずしたターミナルカバーを元に戻します。カメラの取り付け方法によってケーブルを出す方向が変わります。

ケーブルを横出する場合

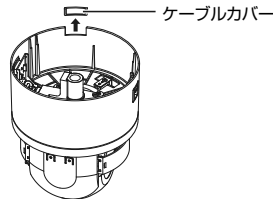


ケーブルを上出する場合



ご注意:

- 異物やほこりが入らないよう、ターミナルカバーは必ず取り付けてください。
- ケーブルを上出する場合、落下防止ワイヤーはターミナルカバーの下をくぐらせてケーブル類と合わせて上出ししてください。
- ケーブルを横出する場合、カメラ本体のケーブルカバーをはずしてください。



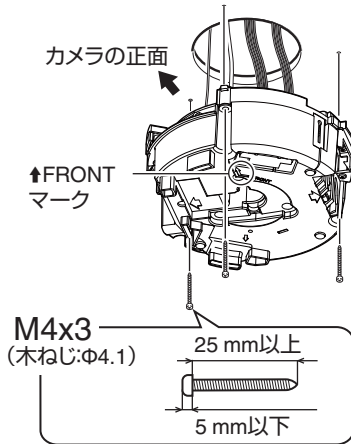
以上で設置・接続の準備は終了です。このあと、カメラ本体を取り付けてください。

(※ p.24 [カメラ本体の取り付け (VN-H657B)])

カメラ本体の取り付け (VN-H657B)

1 FRONT マーク(↑)を撮影方向に向け、天井取付部を天井に固定する

- 接続ケーブルをはさみ込まないよう注意して、天井取付部をねじ 3 本で天井に固定します。



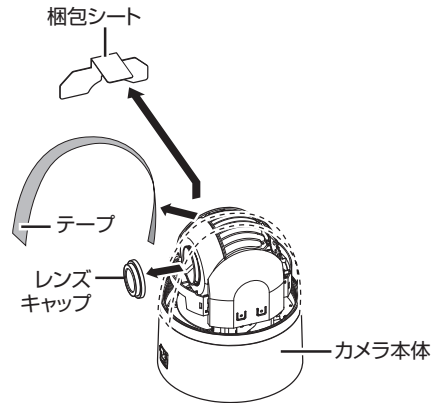
ご注意:

- 固定用ねじ、ボルトは M4 を使用してください。
- 木ねじは Φ4.1 を使用してください。
- ねじの長さは 25 mm 以上のものを使用してください。
- 本機が水平になるように設置してください。傾けて使用すると正しく動作しません。
- ねじ頭が 5 mm 以下のものを使用してください。天井構造物が金属の場合、映像にノイズが入ることがあります。
- ねじの締め付け時にねじ頭がもぐり込むタイプのねじは使用しないでください。(皿ねじなど) 絶縁用樹脂パーツが破損して絶縁がとれなくなることがあります。

メモ:

- 必ず 3 本のねじを使用して、確実に取り付けてください。
- メンテナンス時は念のため、ねじを増し締めしてください。
- 天井取付部の天井固定用穴についている樹脂パーツは、天井取付部と天井構造物の絶縁目的で使用しています。天井構造物が金属の場合カメラとの絶縁を行わないと、映像にノイズが入ることがあります。必ず絶縁するように設置してください。

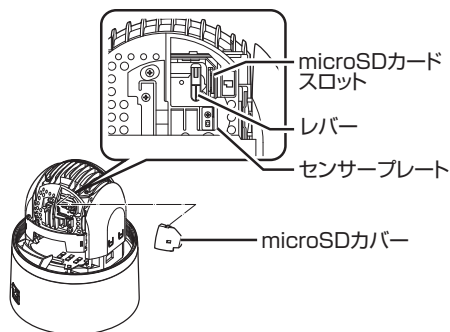
2 カメラのレンズ部のテープ、レンズキャップおよび梱包シートをはずす



3 microSD カードを挿入する(VN-H657B)

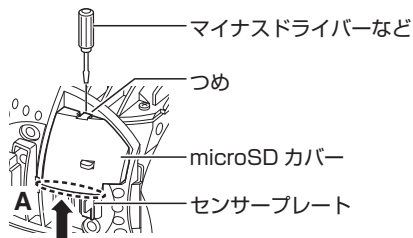
- 事前に、フォーマット済みの microSD カードを別途用意してください。
本機で使用可能な microSD カードについては、以下をご覧ください。

(※ p.14 [本機で使用可能な microSD カードについて])



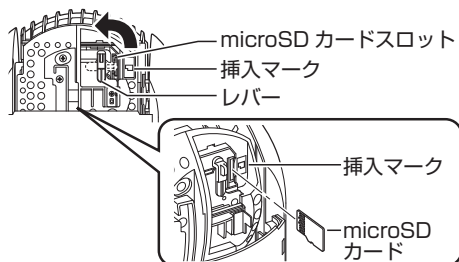
- ① microSD カバーの A 部を矢印の方向に押し持ち上げるようにし、取りはずしてください。

- microSD カバーが取りはずしにくいときは、マイナスドライバーなどでつめを押しつけて取りはずしてください。



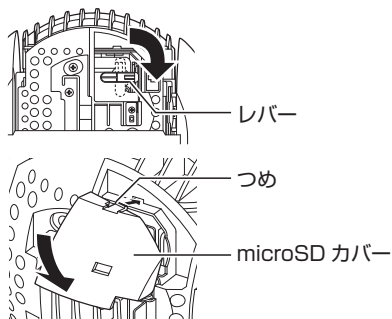
- ② レバーを時計の反対回りに 90° 回転させ、microSD カードスロットに microSD カードを挿入してください。

- microSD カードは挿入マークの向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。



- ③ レバーを時計回りに 90° 回転させ、microSD カバーを取り付けてください。

- microSD カバーを取り付けるときは、先につめをひっかけて、矢印の方向に押し込んでください。



メモ: _____

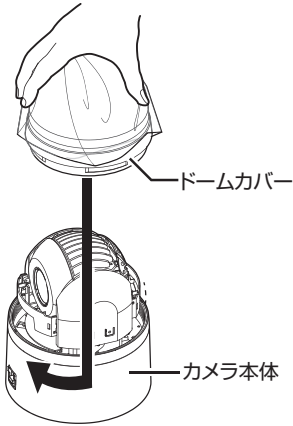
- レンズ部(カメラモジュール)は回転しやすいので、レンズに触れないようにしてレンズ部を手で固定してください。
- microSD カードを取り出すときは、挿入と同じ手順で microSD カバーを取りはずしてから、カードを取り出してください。
microSD カードを奥に押し込むと、カードを取り出せます。

ご注意: _____

- microSD カードの挿入および交換は、本機の電源を切った状態で行ってください。
microSD カードに書き込み中に電源を切ったり、取り出したりすると、カード内の記録データが破損します。
- microSD カードを取り出すときは、[microSD カード記録] ページで [マウント解除] ボタンを押してから取り出してください。
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で [microSD カード記録] ページの「[microSD カード]」をご覧ください。
- microSD カバーを取りはずしたり microSD カードを取り出すときは、工具や microSD カバー周囲の金属などで怪我をしないように気を付けてください。
- microSD カバーを取りはずす、または取り付けるときは、センサープレートに力を加えて変形させたり、傷つけたりしないように注意してください。
- microSD カードを取り出すときに、勢いよく飛び出ることがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。
- microSD カードを挿入または交換するときは、microSD カバーおよび microSD カードを落としたりなくしたりしないように注意してください。

4 ドームカバーをカメラ本体に取り付ける

- ① ドームカバーやレンズにゴミが付いていないかを確認してください。
- ② ドームカバーを時計方向に回して取り付けてください。



ご注意：

- ドームカバーは光学部品のため取り扱いに注意してください。
- ドームカバーを取り付けるときは、中にごみが入らないように注意してください。
- ドームカバーは最後まで締めてください。
- ドームカバーはねじ構造になっているのでカバーが回らなくなるまで確実に締め込んでください。このときドームカバーが斜めに付かないように注意してください。
- ドームカバーは無理に回さないでください。ドームカバーが破損することがあります。

メモ：

- ドームカバーが入りにくい場合、一度反時計方向に「カタッ」と音がするまで回し、再度時計方向に回すとスムーズに入ります。

5 カメラ本体の落下防止ワイヤーを取り付ける(天井取付部とカメラ本体をつなぐ)

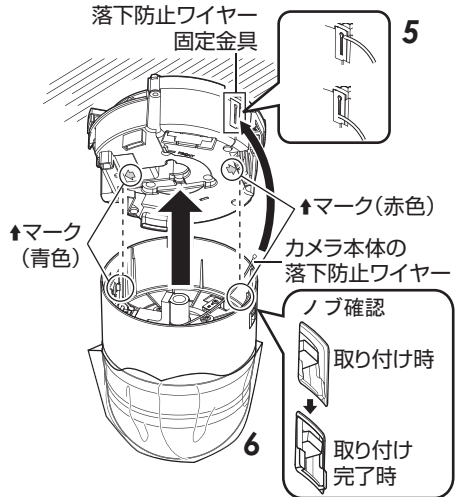
- カメラ本体に付いている落下防止ワイヤーを、天井取付部の落下防止ワイヤー固定金具に取り付けます。

注意

- 落下防止ワイヤーを接続しないとカメラ本体が落下する原因となります。落下防止ワイヤーは必ず接続してください。
- 危険防止のため、落下防止ワイヤーにカメラをぶらさげたまま放置しないでください。

6 カメラ本体を取り付け、カメラ本体ロックノブを確認する

- カメラ本体内側の「↑マーク(青色)」「(赤色)」と、天井取付部の「↑マーク(青色)」「(赤色)」の位置を合わせます。
- カチッと音がするまで、カメラ本体を天井取付部に挿入し、確実に取り付けます。
- カメラ本体が確実に取り付けると、カメラ本体固定ロックノブ(2か所)が少し出っ張ります。

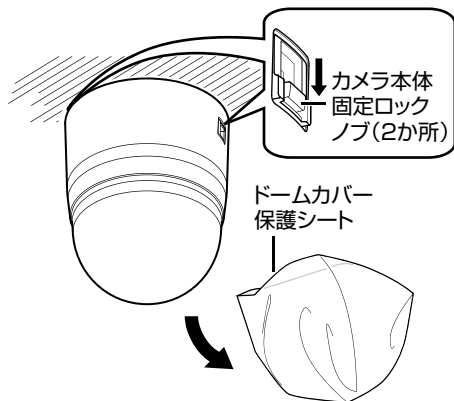


ご注意：

- カメラ本体を取り付ける前に、カメラ本体固定ロックノブがロックされていない(ロックノブが上方にある)ことを確認してください。ロックがされているとカメラが取り付けられません。
- ケーブルを横出しする場合、カメラ本体のケーブルカバーをはずしてください。
(☞ p.23 [ケーブルを横出しする場合])

7 カメラ本体固定ロックノブ(2か所)をロックし、ドームカバー保護シートをはがす

- カメラ本体を天井取付部に取り付けたら、カメラ本体固定ロックノブ(2か所)を矢印の方向に下げて、カメラ本体が落下しないよう固定します。
- 取り付け完了後に、ドームカバー保護シートをはがします。



注意

- カメラ本体固定ロックノブ(2か所)がロックされていない場合、カメラ本体が落下する原因となります。ロックノブが確実にロックされていることを必ず確認してください。
- 取り付けに不備があるとカメラ本体が落下する原因となります。取り付け完了後、カメラが確実に取り付けられているか確認してください。

以上でカメラの設置は終了です。このあと、カメラの IP アドレスを設定してください。

(※ p.34 [IP アドレスの設定手順])

カメラの取りはずし

- カメラ本体固定ロックノブを天井の方向へスライドさせロックを解除する
- カメラ本体固定ロックノブ(2か所)を左右から押し込み、カメラ本体ははずす
- 落下防止ワイヤーを取り付けと逆の手順ではずす

設置・接続の準備 (VN-H657WPB)

カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。

壁面の準備

1 壁に穴をあける

- 接続ケーブルを通す穴(Φ45 mm)をあけます。

ご注意:

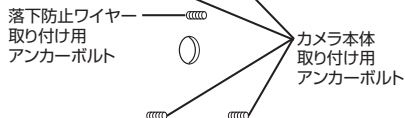
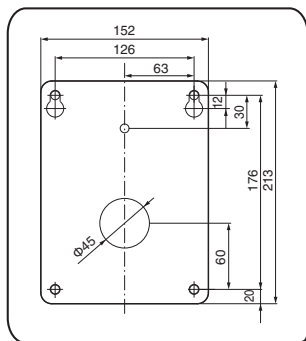
- 壁の強度を確認ください。落下の原因となります。

2 カメラ本体取り付け用のアンカーボルトを立てる

- カメラ本体を取り付けるためのアンカーボルト(M8×35 mm 以上)を4本立てます。

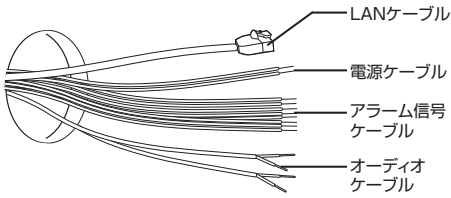
3 落下防止ワイヤー取り付け用のアンカーボルトを立てる

- カメラ本体を取り付けるためのアンカーボルト上部2本の中央、30 mm 下の位置に落下防止ワイヤーを取り付けるためのアンカーボルトを立てます。



4 ケーブル類を壁の穴から出す

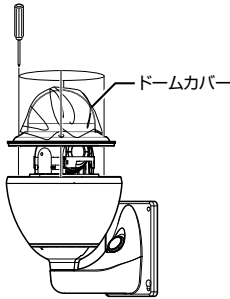
- 電源ケーブル、LANケーブル、アラーム信号ケーブルおよびオーディオケーブルを壁から出します。



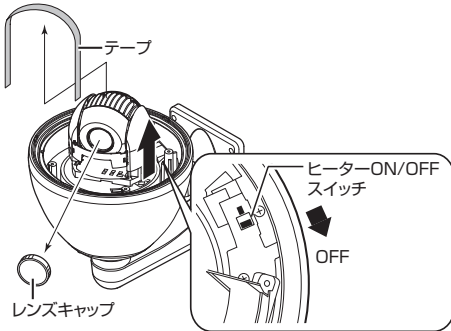
カメラの準備

1 ドームカバーをはずす

- ねじ(4本)をゆるめ、カメラ本体からドームカバーをはずします。



2 レンズキャップをはずし、輸送用のテープをはがす



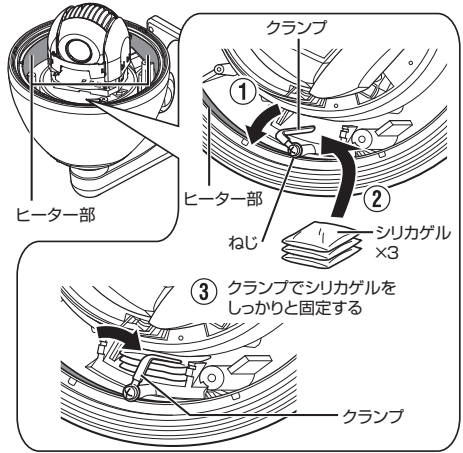
メモ:

- ヒーターが不要な場所に設置する場合は、ヒーター ON/OFF スイッチを切ってください。

3 シリカゲルを入れる

- 図の位置に付属のシリカゲルを必ず入れてください。

- ねじをゆるめて、クランプをずらす
- アルミバックからシリカゲルを3個取り出し、ヒーター部の奥(図の位置)にシリカゲルを入れる
 - シリカゲルを入れたあと、シリカゲルがヒーター部にふれていないことを確認してください。
- クランプでシリカゲルをしっかりと固定し、ねじを締め付ける
 - シリカゲルを確実に押さえるまでクランプを回転させてから、ねじを締め付けてください。



メモ:

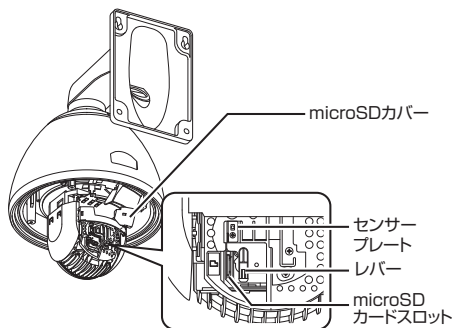
- 修理やメンテナンス時に再接続や再設置する場合は必ずシリカゲルを交換してください。
- 交換する場合はサービス窓口にお問い合わせください。交換する部品は、サービス部品番号 LW40500-001A のシリカゲルを使用してください。

ご注意:

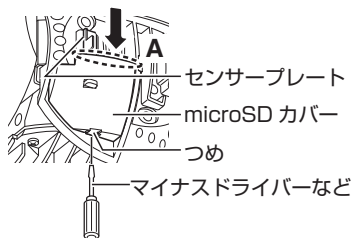
- シリカゲルを入れないと、カメラレンズやドームカバーが曇り、映像が不鮮明になる場合があります。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよう十分に注意してください。

4 microSD カードを挿入する (VN-H657WPB)

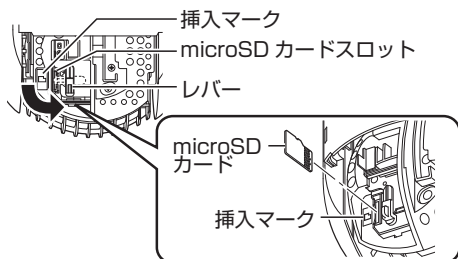
- 事前に、フォーマット済みの microSD カードを別途用意してください。
本機で使用可能な microSD カードについては、以下をご覧ください。
([p.14](#) [本機で使用可能な microSD カードについて])



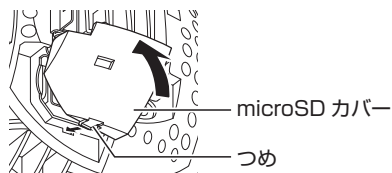
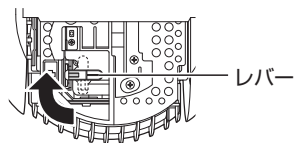
- microSD カバーの A 部を矢印の方向に押し持ち上げるようにし、取りはずしてください。
 - microSD カバーが取りはずしにくいときは、マイナスドライバーなどでつめを押し込んで取りはずしてください。



- レバーを時計の反対回りに 90° 回転させ、microSD カードスロットに microSD カードを挿入してください。
 - microSD カードは挿入マークの向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。



- レバーを時計回りに 90° 回転させ、microSD カバーを取り付けてください。
 - microSD カバーを取り付けるときは、先につめをひっかけて、矢印の方向に押し込んでください。



メモ：

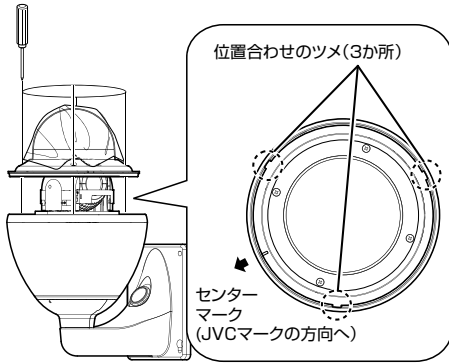
- レンズ部(カメラモジュール)は回転しやすいので、レンズに触れないようにしてレンズ部を手で固定してください。
- microSD カードを取り出すときは、挿入と同じ手順で microSD カバーを取りはずしてから、カードを取り出してください。
microSD カードを奥に押し込むと、カードが取り出せます。

ご注意：

- microSD カードの挿入および交換は、本機の電源を切った状態で行ってください。
microSD カードに書き込み中に電源を切ったり、取り出したりすると、カード内の記録データが破損します。
- microSD カードを取り出すときは、[microSD カード記録]ページで[マウント解除]ボタンを押してから取り出してください。
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で[microSD カード記録]ページの「[microSD カード]」をご覧ください。
- microSD カバーを取りはずしたり microSD カードを取り出すときは、工具や microSD カバー周囲の金属などで怪我をしないように気を付けてください。
- microSD カバーを取りはずす、または取り付けるときは、センサープレートに力を加えて変形させたり、傷つけたりしないように注意してください。
- microSD カードを取り出すときに、勢いよく飛び出ることがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。
- microSD カードを挿入または交換するときは、microSD カバーおよび microSD カードを落としたりなくしたりしないように注意してください。

5 ドームカバーをカメラ本体に取り付ける

- ねじ(4本)でドームカバーをカメラ本体に取り付けます。ドームカバーのつめ(3か所)とセンターマークをめやすに取り付けます。センターマークがカメラ本体の JVC マークの上にくる位置に取り付けてください。

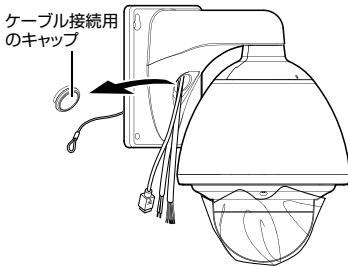


ご注意：

- ドームカバー内側に、ゴミや汚れなどが無いことを確認してから取り付けてください。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよう十分に注意してください。
- ドームカバーを取り付けるときは、4か所のねじを仮止め後、増し締めしてください。
- ねじの締め付けは、 $0.5\text{ N}\cdot\text{m} \sim 1\text{ N}\cdot\text{m}$ ($5\text{ kgf}\cdot\text{cm} \sim 10\text{ kgf}\cdot\text{cm}$) をめやすにしてください。締め付けが不十分な場合、水が浸入しドームカバーがくもるおそれがあります。

6 ケーブル接続用のキャップをはずす

- カメラ本体のアーム部分のキャップをはずします。



7 ケーブル接続用の穴からケーブル類を出す

- カメラ本体から出ているケーブル類(落下防止ワイヤーを除く)をケーブル接続用の穴から出します。

以上で設置・接続の準備は終了です。このあと、カメラ本体を取り付けてください。
(※ p.31 [カメラ本体の取り付け (VN-H657WPB)])

カメラ本体の取り付け (VN-H657WPB)

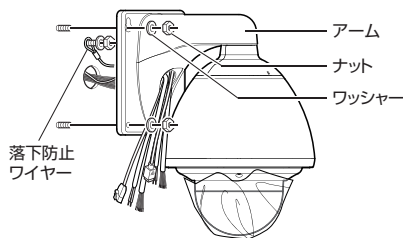
1 落下防止ワイヤーを取り付ける

- カメラ本体の落下防止ワイヤーを、準備で立てた落下防止ワイヤー取付用のアンカーボルトに取り付けます。
- 落下防止ワイヤーは、ナットとワッシャーでしっかりと固定します。

2 壁から出したケーブル類をケーブル接続用の穴から出す

3 カメラ本体を壁に取り付ける

- カメラ本体を、準備で立てたカメラ本体取付用のアンカーボルトに取り付けます。
- カメラ本体は、ナットとワッシャーでしっかりと固定します。

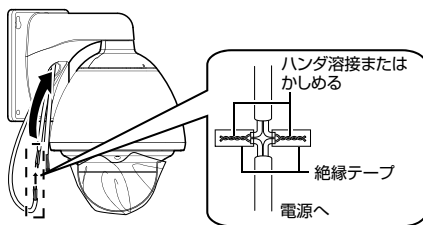


ご注意：

- 本機の質量は、約 5.6 kg あります。落下には十分に注意して取り付け作業を行なってください。
- 設置時は、安全のため、アーム部をつかんで作業してください。
- ナットとワッシャーには、取り付け後、塗装するなどの防錆処理を施してください。

4 電源ケーブルを接続する

- AC24 V 電源で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続してください。
 - PoE plus で電源供給する場合は、電源ケーブルの接続は不要です。次の手順へお進みください。
- (☞ p.32 [LAN ケーブルを接続する])
- 電源ケーブルを接続したあとに、防水テープ(融着)を巻き付けます。
 - 接続が完了したら、電源ケーブルをカメラのアーム内部に押し込みます。



防水テープ(融着)で巻く

AC24V と接続する場合の電源ケーブルについて(参考値)

導体直径(mm)	最大接続距離(m)
Φ1.0 以上	20
Φ1.6 以上	60
Φ2.0 以上	100
Φ2.6 以上	180

メモ：

- 工場出荷時は IP アドレスが 192.168.0.2 に設定されています。

ご注意：

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。
- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおこり、正しくアクセスできなくなります。JVC-VN-IP 設定ツール(付属の CD-ROM 内)を使用して設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、“OUTPUT1(MAX 3.2 A)”に接続してください。“OUTPUT2(MAX 1 A)”または“OUTPUT3(MAX 1 A)”に接続すると電流容量が不足することがあります。TK-A241 の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、ユニット 1 台につき本機 1 台のみ使用可能です。

注意

本機に電源を供給するには、AC24 V 50 Hz/60 Hz、または PoE Plus (IEEE802.3at Type2) を使用します。正しい電圧で使用してください。AC24 V は必ず一次電源から絶縁されたものを使用してください。

定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにサービス窓口へ連絡してください。

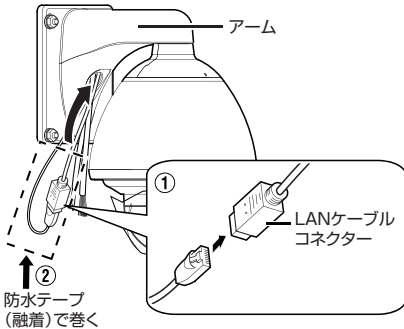
定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにサービス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

5 LAN ケーブルを接続する

① LAN ケーブルでハブまたはパソコンと、本機の LAN ケーブルコネクタを接続してください。

- ハブに接続する場合: ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合: クロスケーブルを使用してください。

② コネクタ部分に防水テープ(融着)を巻き付け、LAN ケーブルをカメラのアーム内部に押し込みます。

**使用 LAN ケーブル**

- STP(シールドケーブル推奨)
- 長さ 100 m 以下
- カテゴリ 5e 以上

ご注意:

- VN-H657WPB を -10°C 以下の環境下で使用する場合は、AC24 V 電源で使用してください。PoE Plus 電源使用時はヒーターが動作しません。
- パソコンによってはクロスケーブルを使用できない機種があります。カメラをパソコンに直結する場合には事前にパソコンの LAN 仕様を確認してください。

6 アラーム信号ケーブルを接続する

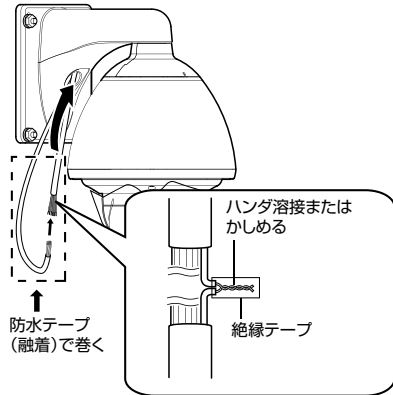
- アラーム信号ケーブルと、センサー、ブザーなどの外部機器を接続します。
- アラーム信号ケーブルの色と信号名については、以下をご覧ください。

([p.12](#) [アラーム信号ケーブルの信号一覧])

- アラーム入出力について詳しくは、以下をご覧ください。

([p.15](#) [アラーム入出力信号について])

- アラーム信号ケーブルを接続したあとに、防水テープ(融着)を巻き付けます。
- 接続が完了したら、アラーム信号ケーブルをカメラのアーム内部に押し込みます。

**使用アラーム信号ケーブル**

- 長さ 50 m 以下
- UL1007 または UL1015 相当品
- AWG#22 ~ AWG#18 相当品

ご注意:

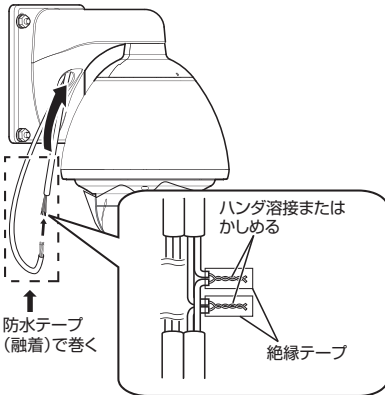
- 使用しないケーブル類の先は、1 本ずつ必ず防水テープ(融着)などで、確実に防水処理を行なってください。
- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 外来の雑音などによって、長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。

7 オーディオケーブルを接続する

- 事前に、オーディオ機器に接続するケーブルを別途用意してください。
- オーディオ機器からのケーブルと本機のオーディオケーブルをハンダ溶接またはかしめてください。
- オーディオケーブル(白/白)(マイク入力): プラグインパワー対応のコンデンサマイクなどからのケーブルと接続させてください。
- オーディオケーブル(ライトグリーン/ライトグリーン)(ライン出力): アンプ内蔵スピーカーなどからのケーブルと接続させてください。
- オーディオケーブルの色と信号名については、以下をご覧ください。

(☞ p.12 [VN-H657WPB])

- オーディオケーブルを接続したあとに、防水テープ(融着)を巻き付けます。
- 接続が完了したら、オーディオケーブルをカメラのアーム内部に押し込みます。



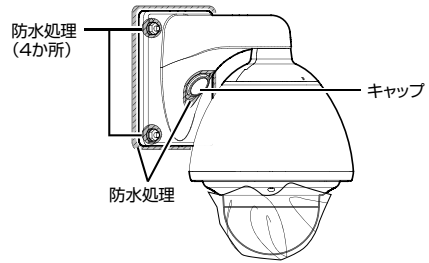
オーディオ機器との接続ケーブル(マイク入力・ライン出力)

- シールドケーブル推奨
- 長さ 5m 以下推奨

ご注意:

- 使用しないケーブル類の先は、1本ずつ必ず防水テープ(融着)などで、確実に防水処理を行なってください。
- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。

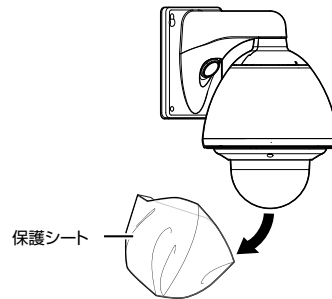
8 キャップを取り付け、ケーブル接続用の穴、カメラ本体取付面の周りおよびアンカーボルト締結部周辺(4か所)を防水シーリング材(GE シリコン)でふさぐ



ご注意:

- 防水処理は確実にこなしてください。処理が不十分な場合、雨水などの浸水によって故障することがあります。
- シーリング材として GE シリコンか同等のものを使用してください。

9 ドームカバーの保護シートをはがす



以上でカメラの設置は終了です。このあと、カメラの IP アドレスを設定してください。

(☞ p.34 [IP アドレスの設定手順])

カメラの取りはずし

- 1 ケーブル接続用の穴、カメラ本体取付面の周りおよびアンカーボルト締結部周辺(4か所)をふさいでいる防水シーリング材(GE シリコン)をとりのぞく
- 2 ケーブル接続用のキャップをはずし、ケーブル類を取り出す
- 3 各種ケーブルをはずし、カメラを壁から取りはずす

IP アドレスの設定手順

※ 本項目は、Windows 7/Internet Explorer 8.0 を基本に記述してあります。

カメラの IP アドレスを下記手順で設定してください。

【Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定】 p.34

設定用パソコンの IP アドレスを設定します。



【Step2 Internet Explorer の設定】 p.35

設定用パソコンとカメラを接続するために、Internet Explorer の設定を行います。



【Step3 カメラとパソコンの接続】 p.36

設定用パソコンとカメラを接続します。



【Step4 カメラの IP アドレスを設定】 p.37

[基本設定 1]画面の[IP 設定]項目を、“固定 IP”または“DHCP”に設定します。

ご注意：

- 設定変更の直後にリセットあるいは電源を切らないでください。変更した設定内容が保存されず、工場出荷時の設定に戻る場合があります。

Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定

工場出荷時のカメラは“固定 IP”(DHCP クライアント機能がオフ)になっており、カメラの起動後、下記の IP アドレスで起動します。設定用パソコンの IP アドレスを下記と通信できるように設定してください。

(例えば IP アドレスを 192.168.0.100、サブネットマスクを 255.255.255.0)

ご注意：

- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおこり、正しくアクセスできなくなります。JVC-VN-IP 設定ツール(付属の CD-ROM 内)を使用して設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。

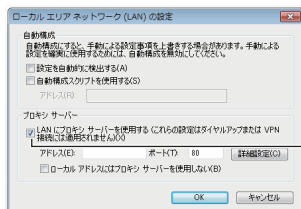
カメラの IP アドレス(工場出荷時)

IP アドレス : 192.168.0.2
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ: なし

Step2 Internet Explorer の設定

- 1 パソコンで Internet Explorer を起動する
- 2 Internet Explorer にプロキシが設定されている場合には、次の手順で Internet Explorer のプロキシをオフにする

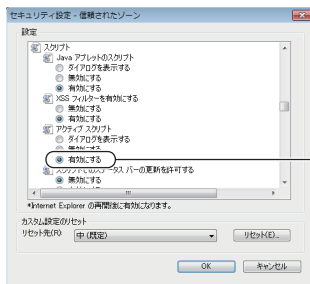
- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LAN の設定]の順に選択します。
- ② [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ウィンドウの [プロキシサーバー] 内の [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークをはずします。



チェックマークをはずす

- 3 Internet Explorer でアクティブスクリプトが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

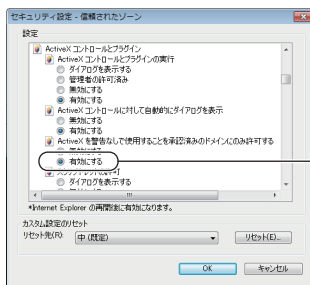
- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]を選択します。
- ② [信頼済みサイト[サイト]]ボタンをクリックし、[このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする]のチェックマークをはずします。
- ③ カメラの URL をゾーンに追加します。カメラが工場出荷時の設定のときは、次の URL をゾーンに追加します。
<http://192.168.0.2>
- ④ [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]を選択し、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。
- ⑤ [セキュリティの設定]ウィンドウから[スクリプト]-[アクティブスクリプト]の[有効にする]を選択します。



[有効にする]を選択

- 4 Internet Explorer で ActiveX コントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]をクリックします。
- ② [レベルのカスタマイズ]ボタンを選択し、[セキュリティの設定]ウィンドウを開きます。
- ③ [ActiveX コントロールとプラグイン]の全項目を [有効にする] にします。また、[その他]にある [サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する]の [有効にする] を選択します。



[有効にする]を選択

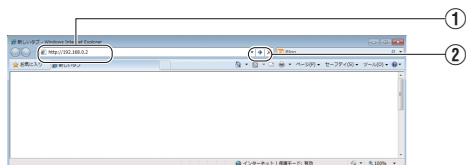
5 ポップアップブロックを無効にする
Internet Explorer でポップアップブロックが“有効”になっていると、カメラを接続することができません。その場合には下記手順で、ポップアップブロックを“無効”にしてください。

- ① [ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックを無効にする]を選択すれば、すべての Web サイトが許可されます。
- ② 本機などの特定の Web サイトだけ許可したい場合には[ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックを有効にする]を選択します。
- ③ [ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックの設定]を選択し、[ポップアップブロックの設定]ウィンドウを開きます。開いたウィンドウに許可する Web サイトのアドレスとしてカメラのアドレスを追加します。

6 プラグインツールを Internet Explorer に入れている場合、プラグインツールのポップアップブロック機能も無効にする

Step3 カメラとパソコンの接続

1 Internet Explorer を起動する

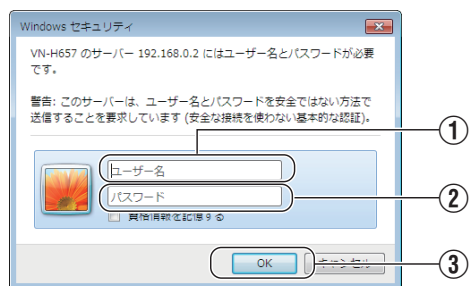


- ① IP アドレス[<http://192.168.0.2>] (例:工場出荷時)を入力します。
- ② [↵]をクリックします。

メモ: _____

- Internet Explorer でインターネットへのアクセスにプロキシサーバーが設定されていると、直接指定ができない場合があります。そのときは、Internet Explorer のプロキシ設定の変更を行なってください。
- 統合ビューワーを経由しないで[基本設定 1] ページを開く場合は Internet Explorer のアドレス欄に[基本設定 1]ページの URL を入力します。
`http://192.168.0.2/cgi-bin/display.cgi?basicmenu1.html`
- [セキュリティ警告]画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックして先へ進んでください。

2 ユーザー名、パスワードを入力する (“admin”でログインします)



- ① ユーザー名を入力してください。(工場出荷時は“admin”)
- ② パスワードを入力してください。(工場出荷時は“jvc”)
- ③ クリックしてください。

メモ: _____

- [セキュリティ情報]画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックして先へ進んでください。

3 カメラの統合ビューワーのインストール

- Internet Explorer で最初に統合ビューワーを表示しようとする、統合ビューワーのプラグインソフトウェアが本機からダウンロードされて、パソコンにインストールされます。統合ビューワー(IntegratedViewer.cab アドオン)のインストール画面が表示されたら、画面に従ってインストールしてください。
- インストールが終了すると、カメラの映像が表示されます。



カメラの IP アドレスがわからない場合

カメラの IP アドレスがわからない場合、パソコンでアクセスして設定・変更することができます。IP アドレスを知る手段としては、以下があります。

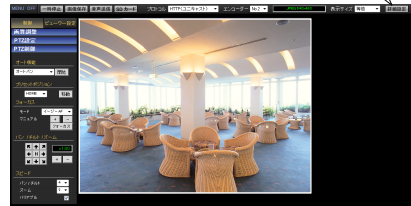
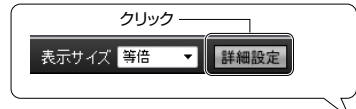
- 付属 CD-ROM 内の[TOOL_J]フォルダにある“JVC-VN 検索ツール”を使用して、LAN 内のカメラを検索することができます。
- ※ [JVC-VN 検索ツール]の詳細については、[TOOL_J]フォルダにある **Readme** ファイルをご覧ください。

メモ: _____

- 本機は電源投入後、パン/チルト/ズーム/フォーカスの初期動作を行います。初期動作が開始されるまでに 90 秒程度かかりますが、故障ではありません。
- 統合ビューワーがパソコン上で動作するために必要な設定は Cookie に保存されます。
- Cookie に保存される設定は、表示対象として選んでいるエンコーダの番号や表示サイズが等倍か可変かなどの統合ビューワーの動作に関わる設定であり、カメラの動作に関わる設定は Cookie に保存されません。

Step4 カメラの IP アドレスを設定

1 統合ビューワーの[詳細設定]をクリックする



2 [基本設定 1]ページが表示される



① [ネットワーク]項目を設定してください。

- “固定 IP”に設定する場合:

[ネットワーク]項目を“固定 IP”にし、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]の欄に設定したい値を入力してください。

- “DHCP”に設定する場合:

工場出荷時は“固定 IP”(DHCP クライアント機能がオフ)になっています。DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てる場合は、DHCP サーバーを LAN に接続し、カメラの[ネットワーク]項目を“DHCP”に設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。カメラに割り当てられる IP アドレスについてはネットワーク管理者にお尋ねください。

ご注意: _____

- DHCP サーバーからカメラの MAC アドレスへ割り当てる IP アドレスが、毎回同じになるよう DHCP サーバーの設定を行なってください。上記設定を行わないと、接続できない場合があります。

IP アドレスの設定

- ② [タイムゾーン]を選択してください。
- ③ クリックしてください。

メモ: _____

- ネットワークの設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- Internet Explorer のアドレスバーに下記の URL を入力すると、Step 3 の手順 2 にて“admin”でログイン後、統合ビューワーを経由せずに[基本設定 1]設定画面を開くことができます。
例: `http://192.168.0.2/cgi-bin/display.cgi?basicmenu1.html`
- [セキュリティ警告]画面が表示されたら[はい]ボタンをクリックし、先に進んでください。

3 確認の画面が表示されたら[OK]ボタンをクリックする

- 本機は新しい IP アドレスで再起動します。再起動には約 1 分かかります。

メモ: _____

- カメラの IP アドレスが変更されたため、このパソコンからアクセスできなくなる場合があります。引き続き同じパソコンからカメラへアクセスする場合は、パソコンの IP アドレスを設定し直してください。

開いた画面の表示や構成がおかしい場合

以下の手順でパソコンの設定を確認してください。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップのカスタマイズ]を開く
- ② [ディスプレイ]の[画面の解像度の調整]を開く
- ③ 解像度が使用しているモニタサイズ(推奨)になっているか確認する
- ④ 他の設定になっていた場合、[モニタサイズ(推奨)]に設定を変更し、[OK]ボタンを押す
- ⑤ [ディスプレイ設定]で[変更を維持する]ボタンを押す

Internet Explorer を使った設定

Internet Explorer で画質設定、アラーム設定などを行います。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「Internet Explorer を使った設定」をご覧ください。

統合ビューワーの操作

カメラは、統合ビューワーを備えています。Internet Explorer で IP アドレスを入力することで、統合ビューワーが起動します。統合ビューワーは PTZ 操作などができます。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「操作」をご覧ください。

こんなときは

- : 症状
- : 原因と対応

映像が出ない / 電源が入らない

本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありますか？（電源ケーブルが長すぎたり、細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）
→本機指定のケーブル太さ・長さで接続してください。

(☞ p.21 [設置・接続の準備(VN-H657B)])

(☞ p.31 [カメラ本体の取り付け(VN-H657WPB)])

レンズキャップが付いたままになっていませんか？

→レンズキャップをはずしてください。

クライアントパソコンが HTTP でカメラへアクセスする場合のポート番号の指定は合っていますか？

(ポート番号が間違っている場合は、統合ビューワの各種メニューは表示されるが、映像が表示されずに“接続に失敗しました”と表示されます。)

→統合ビューワの HTTP ポートの値に、カメラのプロトコルページの HTTP サーバーポートと同じ値を指定してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[プロトコル]ページ」および「[ユニキャスト]に関する設定」をご覧ください。

PoE Plus 給電機器で電源供給しても、電源が入らない

PoE Plus (IEEE802.3at Type 2 準拠)給電機器とカテゴリ 5e 以上の LAN ケーブルで接続していますか？

→ケーブルを確認してください。PoE Plus 給電機器(ハブなど)によっては、供給できるトータル電力の制限を越える台数の PoE/PoE Plus 端末機器を接続すると、電源を供給しないものがあります。PoE Plus 給電機器の取扱説明書をご覧ください。

VN-H657WPB を-10°C 以下の環境下で使用すると、カメラの電源が切れる

→ヒーター ON/OFF スイッチが ON であることを確認してください。

→PoE Plus 給電機器を使用して電源供給する場合は、ヒーターが動作しません。
VN-H657WPB を-10°C 以下の環境下で使用する場合は、AC 24 V 電源で接続してください。

一度電源が入るが、回転動作すると電源がすぐに切れる

輸送用のテープが付いたままになっていたり、異物が混入してカメラ部の回転動作を妨げていませんか？

カメラ部を回転させようとしても回転しない場合、機器の保護のため電源が切れるようになります。

→輸送用テープや異物を取り除き、カメラ部が回転することを手動で確認してください。

(☞ p.6 [輸送について])

本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありますか？（電源ケーブルが長すぎたり、細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）

→本機指定のケーブル太さ・長さで接続してください。

(☞ p.21 [設置・接続の準備(VN-H657B)])

(☞ p.31 [カメラ本体の取り付け(VN-H657WPB)])

カメラの IP アドレスがわからない

工場出荷時から変更していない場合、IP アドレスは 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

[IP 設定]が“DHCP”に設定されており、DHCP サーバーが存在しない LAN で起動した場合は、工場出荷時の IP アドレスで起動します。

→同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、“JVC-VN 検索ツール”を使用して検索してください。

カメラの設定ページを開覧できない

→Internet Explorer の設定を確認してください。
また、プロキシサーバーを使用する場合は、Internet Explorer のプロキシサーバーの設定を行なってください。

取扱説明書に記載されている統合ビューワのメニュー項目または操作項目が見つからない

最新のファームウェアになっていますか？

→弊社の Web サイトで最新のファームウェアを確認し、古い場合は必要に応じて、ファームウェアのアップデートを行なってください。
(☞ p.5 [最新情報について])

統合ビューワをインストールできない / 統合ビューワを起動すると警告メッセージが出る

→Internet Explorer の設定を確認してください。
統合ビューワは ActiveX というソフトウェアコンポーネントで構成されています。はじめて統合ビューワを使うときに ActiveX がインストールされますが、アンチウィルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールを拒否する場合があります。そのような場合にはアンチウィルスソフトの設定を変更してから統合ビューワをインストールしてください。

統合ビューワをインストールするときに、VeriSign 社による認証が表示される

統合ビューワには VeriSign 社の電子署名が行われています。
パソコンがインターネットに接続されているネットワーク環境では、VeriSign 社の認証によって統合ビューワの真正性を確認できるようになっています。

統合ビューワに白い領域が現れる

一部のパソコンでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[画面の解像度の調整]-[テキストやその他の項目の大きさの変更]を“中-125%”または“大-150%”に設定すると、Internet Explorer の中の一部の領域が描画されず白く残る場合があります。
→その場合は、下記の設定を行なってください。
[スタート]-[コントロールパネル]-[画面の解像度の調整]-[テキストやその他の項目の大きさの変更]で“小-100%(既定)”を選択する。

Internet Explorer の画面表示を 100%から変更すると画面の一部が見えなくなる

Internet Explorer のバージョンによっては表示が見えなくなることがあります。

→Internet Explorer を終了し、再度 Internet Explorer を起動してください。

カメラのオーディオケーブルに接続されているマイクの音声が聞こえない

→マイクとの接続をご確認ください。

音声送信中ではありませんか？

([音声]ページの通信方式が半二重のときは、オーディオケーブルに接続されているマイクの音声を音声送信中に受信できません。)

→音声送信中は、ボタンがオレンジ色になります。その場合は、音声送信ボタンをクリックして音声送信を停止してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「統合ビューワ画面構成」の「音声送信」をご覧ください。

[音声モニタ]の[受信]が“OFF”に設定されていませんか？

→工場出荷時は“OFF”に設定されており、音声を受信できません。[音声モニタ]の[受信]を“ON”に変更してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[音声モニタ]に関する設定」の[受信]をご覧ください。

TCP 送信される映像が再生されない

カメラが TCP 送信できる映像の最大本数は 40 で、1 台のカメラへ接続できる統合ビューワは最大で 20 個となります。

[JPEG 配信]の[優先度]が“フレームレート優先”モードに設定されていると、クライアントから要求されたフレームレートを維持しますが、最大配信数が少なくなります。

マルチキャストの映像が再生されない

→カメラの[マルチキャスト]ページから手動でマルチキャスト配信を開始してください。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[マルチキャスト]ページ」をご覧ください。

→統合ビューワーでマルチキャスト受信する場合、カメラの[マルチキャスト]ページの[宛先アドレス]および[宛先ポート]が、統合ビューワーの[マルチキャスト IP アドレス]および[マルチキャストポート]と一致しているか確認してください。またマルチキャストは IGMPv2 に対応したネットワークを使用してください。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[マルチキャスト]ページ」および「[マルチキャスト]に関する設定」をご覧ください。

Windows 7 のファイアウォールによってマルチキャストがブロックされている場合があります。その場合は下記操作で通過させることができます。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]を開く
- ② [Windows ファイアウォール]の[ファイアウォールの状態の確認]を開く
- ③ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する
- ④ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する
- ⑤ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する
- ⑥ [操作]で“接続を許可する”を選択する
- ⑦ [プロファイル]で適用条件を選択する
- ⑧ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する

複数ネットワークカードを使用しているパソコンは、カメラと接続していないネットワークカードを無効にしてください。下記の操作にて実行できます。

- ① [スタート]-[ネットワーク接続]を開く
- ② カメラに接続していない接続を右クリックして“無効にする”を選択する

表示される映像のフレームレートが低い

→統合ビューワーを用いている場合は、統合ビューワーの設定を確認してください。

ネットワークの帯域が狭い場合には、フレームレートが制約されます。

[JPEG 配信]の[優先度]が、“クライアント数優先”モードに設定されている場合、配信要求が増えると、設定したフレームレートより低いフレームレートで配信されます。

配信性能を越えた場合には、配信データ量の上限に収まるようにフレームレートを低く抑える配信をします。

映像表示がなめらかではない

CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、カメラからの映像がなめらかに見えない場合があります。

また、microSD カードの記録/再生/映像出力中は、配信能力が低下する場合があります。

→[フレームサイズ]、[フレームレート]、[ビットレート]を下げて映像を確認してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[エンコード]ページ」をご覧ください。

3次元ノイズリダクションを使用すると残像が生じる

3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがありますが、故障ではありません。

TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない

Windows のファイアウォールによってポートがブロックされている場合があります。

→使用するパソコンの Windows 環境のファイアウォールに対しては、下記操作を実行してください。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]を開く
 - ② [Windows ファイアウォール]の[ファイアウォールの状態の確認]を開く
 - ③ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する
 - ④ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する
 - ⑤ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する
 - ⑥ [操作]で“接続を許可する”を選択する
 - ⑦ [プロファイル]で適用条件を選択する
 - ⑧ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する
- 使用するネットワークネットに設けられたファイアウォールや上記の操作で問題を解決できない場合には、ネットワーク管理者または設置業者に相談してください。

FTP サーバーに記録したファイル名が文字バケする

→ファイル名に全角文字を使用する場合は、文字コードが EUC-JP の FTP サーバーを使用してください。

統合ビューワの[画像保存]ボタンを押したときや、[動画出力(Y/M/D-h:m:s)]メニューの[動画出力]ボタンを押したときに、ファイルがパソコンに保存されない

→Internet Explorer を管理者として実行してください。下記の操作にて実行できます。

- ① Internet Explorer を右クリックする
- ② [管理者として実行]を選択する

自動的にパン動作をする

[オートクリーニング]が“ON”になっている場合は異常ではありません。

→[オートクリーニング]の設定を確認してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[メンテナンス]ページ」の「オートクリーニング」をご覧ください。

パン/チルト/ズーム(PTZ)などの操作ができない

ネットワークの帯域が不足している可能性があります。

→十分な帯域を確保し、“100 M Full”で運用してください。

動き検出、異音検出、妨害検出が設定できない

検出機能を設定するとき、動き検出、異音検出、妨害検出については、同時に設定することができません。すでにひとつの検出が有効になっている場合、別の検出を有効にしようとするとエラーメッセージが表示されます。

→メッセージの内容を確認し、すでに設定されている検出機能を“OFF”にしてから、再度検出を設定してください。

異音検出設定時、“オーディオドライバーがインストールされていません”などの警告が出て、異音検出が設定できない

有効な再生デバイスがない場合、Windows 環境は利用可能なオーディオドライバーがないと判断します。

→再生デバイスを有効にしてください。

画面上に“Caution : The fan is stopped”と表示される。

内部のファンの異常です。最寄りのサービス窓口へお問い合わせください。また本機の電源を切り、使用しないでください。

microSD カードに記録できない

→本機で使用できる microSD カードを使用してください。
(☞ p.14 [本機で使用可能な microSD カードについて])

microSD カードがマウントされていないときは、記録ができません。

→[microSD カード記録]ページのマウントボタンをクリックして、microSD をマウントしてください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[microSD カード記録]ページ」をご覧ください。

VN-H37/VN-H57 シリーズでフォーマットした microSD カードを使用したときに、映像の記録/再生ができない

VN-H37/VN-H57 シリーズでフォーマットした microSD カードは、本機で使用できません。また、本機で映像を記録した microSD カードは、VN-H37/VN-H57 シリーズで記録/再生することもできません。

microSD 操作画面が更新されない

microSD カード操作画面と[詳細設定]画面を頻繁に移動すると画面が更新されないことがあります。


→[キャンセル]ボタンまたは Web ブラウザ上の更新ボタンを押してください。

microSD カードに記録した映像のフレームレートが設定より少ない、または変動する

電子感度アップ機能が働くと、感度を上げるために microSD カードに記録される映像のフレームレートが減少します。そのため、再生コマ数が少なくなったり、変動することがあります。



→[詳細設定]の[カメラ]ページで、電子感度アップを低い倍率に設定してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[カメラ]ページ」をご覧ください。

SD 連続記録中にイベントリストから再生する場合、再生中に  ボタンを押したときに時刻と画面の表示が一致しない

→再度、 ボタンを押してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[microSD カード]操作画面」をご覧ください。

 ボタンまたは  ボタンを押したときに画面が真っ暗になったり、変わらなかったりする

フレームサイズやフレームレートなどが異なる設定のコンテンツが混在するときに起きることがあります。

→ ボタンを 1 回押してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[microSD カード]操作画面」をご覧ください。

パン/チルト/ズーム(PTZ)の反応が鈍い

microSD カードに記録しているエンコーダーのビットレート設定が高いと、反応が鈍くなる場合があります。

→[microSD カード記録]の[エンコード設定]で選択しているエンコーダーNoのビットレート設定値を下げてください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[microSD カード記録]ページ」の[エンコード設定]をご覧ください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容によって、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望に応じて有料にて修理いたします。

消耗部品について

下表の部品は消耗部品であり、寿命時間や回数をめやすに交換が必要です。寿命時間はめやすであり、使用環境や使用条件によって異なります。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

消耗部品	寿命のめやす
カメラモジュール ズーム動作 フォーカス動作	約 200 万動作 約 400 万動作
スリップリング	約 500 万動作
ファン	約 5 万時間
ヒーター用リレー (VN-H657WPB)	約 10 万動作
細線同軸ケーブル	約 300 万動作

※ ファンは5年で交換してください。

サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- カスタマーサポートセンター (045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口にて次のことをお知らせください。

品名・型名	: HD ネットワークコンビネーションドームカメラ VN-H657B
品名・型名	: 屋外 HD ネットワークコンビネーションドームカメラ VN-H657WPB
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

■VN-H657B/VN-H657WPB 共通

総合

- アラーム入力 : 無電圧接点信号入力(500 ms 以上)、ローレベル時回路電流 1 mA 以下、ハイレベル時印加電圧 DC 3.3 V
- アラーム出力 : NPN オープンコレクター出力 (許容印加電圧 DC 20 V 許容流入電流 25 mA)
- プリセットポジション数 : 最大 100

カメラ部

- 撮像素子 : 1/2.8 型 CMOS
- 最低被写体照度
カラー時 : 0.7 lx (typ.) (50 % 出力, AGC High, WIDE 端, ブラックレベル Normal, 1/30)
- 白黒時 : 0.3 lx (typ.) (50 % 出力, AGC High, WIDE 端, ブラックレベル Normal, 1/30)
- ホワイトバランス : ATW-Wide/ATW-Narrow/
ス ATW-Full/AWC
- 電子シャッター : 1/30, 1/50, 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000, オート(1/30-1/100), オート(1/30-1/1000), オート(1/30-1/8000), フリッカレス
- 逆光補正 : 測光エリアは 4 種類から選択可
- カラーレベル調整 : 調整可
- エンハンス : 水平、垂直両効き (レベル調整可)

音声部

- 音声入力 : マイク入力 x1
プラグインパワー方式 2.50 V ±0.25 V DC (電源供給 ON/OFF 切り換え可能)
インピーダンス 2.2 kΩ±0.2 kΩ
- 入力音声圧縮フォーマット : μ-Law (64 kbps)、量子化ビット数 8 ビット、サンプリング周波数 8 kHz、モノラル
- 音声出力 : ライン出力 x1
最大出力レベル 1.90 V±0.25 V (10 kΩ 終端、0 dBfs 時)

ネットワーク部

- 画像圧縮フォーマット : JPEG、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile
- フレームサイズ : 1920×1080、1280×960、1280×720、720×480(D1)、640×480、640×360、352×240、320×240
- ネットワークインターフェース : 100 BASE-TX/10 BASE-T/FULL/HALF/オートネゴシエーション対応

LAN 規格

- IEEE802.3、IEEE802.3u 準拠
- 通信プロトコル : IPv4, HTTP, HTTPS, TCP, RTSP/RTCP/RTP, FTP, SMTP, DHCP, SNTP, SNMP, ICMP, UDP, IGMP, DNS, ARP

レンズ部

- ズーム比 : 光学 18 倍, デジタル 10 倍
- 焦点距離 : 4.7 mm ~ 84.6 mm
- 最大口径比 : F1.6 (WIDE 端) ~ F2.8 (TELE 端)
- 絞り範囲 : F1.6 (フルオープン) ~ F360 相当
- 最接近距離 : 約 1.8 m (TELE 端)
約 0.6 m (WIDE 端)

回転機構部

- 水平回転範囲 : 360° エンドレス回転
- 水平回転速度 : 約 0.07 °/s ~ 約 400 °/s
- 垂直回転範囲 : -5° ~ 185° (水平より 5° 上 ~ 真下 ~ 水平より 5° 上)
- 垂直回転速度 : 約 0.07 °/s ~ 約 400 °/s

microSD カード部

- microSDHC カード(別売)
- Class10 以上対応の microSDHC カード(16 GB ~ 32 GB)
- 動作保証温度 85 °C 以上のもの
- ファイル形式 : MP4 (ISO/IEC 14496-14:2003)
- 記録フレームサ : 最大 1920 × 1080 イズ
- 記録画質 : ビットレート最大 8192 kbps / 推奨 1024 kbps

VN-H657B

総合

質量 : 約 2.0 kg
周囲温度 : -10 °C ~ 50 °C (動作)
0 °C ~ 40 °C (推奨)
周囲湿度 : 20 %RH ~ 90 %RH
(結露なきこと)

電源

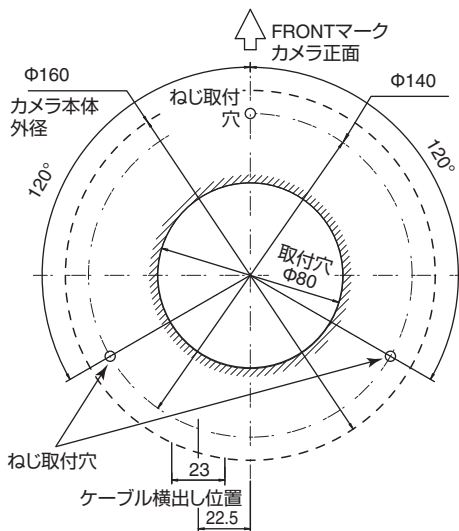
電源電圧 : AC24 V 50 Hz/60 Hz、または PoE Plus
消費電流
AC24 V 電源 : AC24 V 1.3 A
消費電力
PoE 電源 : PoE Plus 18 W

添付物・付属品

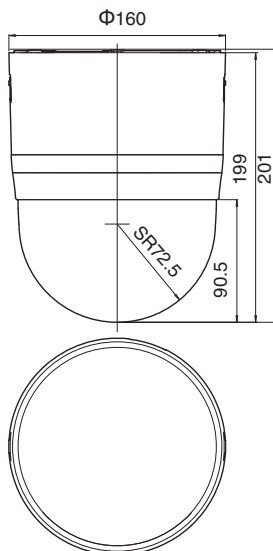
取扱説明書 (設置/IP 設定編) : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
テンプレート : 1
CD-ROM : 1
ワイヤークランプ : 1
オーディオケーブル : 1

その他

天井取付穴 [単位: mm]



外形寸法図 [単位: mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

総合

質量 : 約 5.6 kg

周囲温度

ヒーター使用時: -40 °C ~ 55 °C (動作)

(※1) -30 °C ~ 40 °C (推奨)

ヒーター未使用: -10 °C ~ 55 °C (動作)

時 -10 °C ~ 60 °C (動作)(※2)

-10 °C ~ 40 °C (推奨)

周囲湿度 : 20 %RH ~ 90 %RH

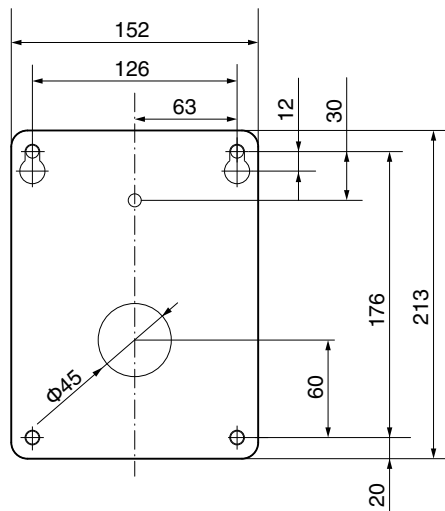
(結露なきこと)

防塵・防水性 : IP66 (JIS C 0920)

※1 ヒーター使用時は、AC24 V を接続してください。

低温 (-40 °C ~ -20 °C) の環境下で電源を入れた場合、内蔵のヒーターによって内部が温まるまでのあいだ (最長 2 時間) は、カメラにアクセスできません。

※2 PoE Plus 電源を使用し、microSD カード機能・音声機能不使用時



電源

電源電圧 : AC24 V 50 Hz/60 Hz、または PoE Plus

消費電流

AC24 V 電源 : AC24 V 2.5 A

消費電力

PoE 電源 : PoE Plus 21 W

添付物・付属品

取扱説明書 (設置/IP 設定編) : 1

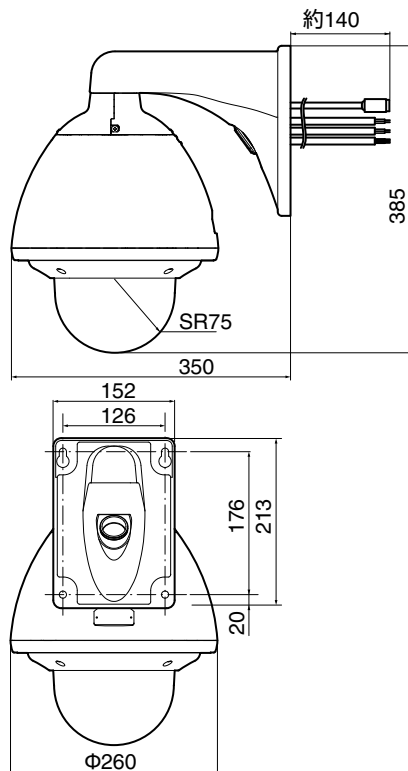
安全上のご注意 : 1

保証書 : 1

CD-ROM : 1

シリカゲル : 3

外形寸法図[単位:mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

VN-H657B
HD ネットワークコンピュータ ショップウェアカメラ /
VN-H657WPB
屋外HD ネットワークコンピュータ ショップウェアカメラ

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12